

学校法人創志学園
環太平洋大学 学則(案)

第1章 総則

(目的)

第1条 本学は、学校法人創志学園の建学の精神並びに教育基本法及び学校教育法の規定に基づき、教育・スポーツの両面を通じて、健全で豊かな人格を備えた教育者・指導者を養成するとともに、深い専門性と応用力を兼ね備えた真に次代をになう国際人となり得る人材を輩出することで社会に貢献することを目的とする。

(自己評価等)

第2条 本学は、その教育水準の向上を図り、本学の目的及びその社会的使命を達成するため、大学における教育研究活動の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果を公表するものとする。

2 前項の点検及び評価を行うにあたっての項目設定、実施体制等については別に定める。

第2章 教育研究組織

(名称)

第3条 本学は、環太平洋大学(International Pacific University)という。

(学部・学科の組織、並びに学生定員)

第4条 本学に設置する学部・学科、並びに各々の入学定員・編入学定員は、次のとおりとする。

学部名	学科名	入学定員	編入学定員	収容定員
体育学部	体育学科	300人	—	1200人
	健康科学科	60人	—	240人
次世代教育学部	こども発達学科	80人	—	320人
	教育経営学科 小学校教育専攻	100人	—	400人
	中高英語教育専攻	20人	—	80人
経済経営学部	現代経営学科	250人	50人	1100人
通学課程 計		810人	—	3340人
次世代教育学部	教育経営学科 〔通信教育課程〕 初等教育専攻	20人	150人	380人
	中高英語教育専攻	20人	20人	120人
	中高数学教育専攻	20人	20人	120人
	看護教育専攻	20人	150人	380人
通信課程 計		80人	340人	1000人
合計		890人	390人	4340人

2 次世代教育学部教育経営学科〔通信教育課程〕初等教育専攻に幼稚園教諭コースと小学校教諭コースを置く。

(学部及び学科の人材の養成に関する目的)

第4条の2 前条第1項に定める学部及び学科ごとの人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的に関しては、以下のように定める。

- 2 体育学部は、健康・スポーツ科学に関する教育研究を行い、「競技スポーツ」、「健康運動」、「健康・スポーツ教育」の専門職分野において科学的知識と実践力を備えた、社会のリーダーとして活躍できる人材の養成を目的とする。
 - (1) 体育学科は、スポーツ科学に関する専門的知識と運動技能を身につけさせることによって、青少年のスポーツ教育に寄与できる指導者、アスリート、社会の多様な分野でリーダーとして活躍できる人材の養成を目的とする。
 - (2) 健康科学科は、健康・医科学の深い専門性に裏付けられた実践力を養成する実学教育を重視し、「健康科学」を中心として、「健康医学」、「スポーツ医科学」や「保健衛生学」「保健医療学」の学際的な領域で学び、アスリートはもとより、広く人間の健康を科学する医療人の養成を目的とする。
- 3 次世代教育学部は、教育学・心理学・社会学などに関する教育研究を行い、「教育実践力」「コミュニケーション力」「異文化理解力」を備え、次代の社会を担い、自らの力で意思決定や価値判断のできる人材の養成を目的とする。
 - (1) こども発達学科は、激変する時代社会の中に生きる、子どもとその家庭を育むために、多面的に事象を理解する能力と実践力・協調性を培い、コミュニケーション能力に優れ、さらに国際感覚のある人材の養成を目的とする。
 - (2) 教育経営学科では、次代を担う子どもが、豊かに自己実現をする上で不可欠となる基礎を培う教育を実践できる人材の養成を目的とする。
- 4 経済経営学部現代経営学科は、経営・経済に関する幅広い知識と教養を土台として、経営学、国際経済、会計・ファイナンス、マーケティングに関する専門知識を体系的に学び、企業実務やマネジメント手法等の実学に触れながら、グローバル化する企業活動に持続的に貢献できる人材の養成を目的とする。
- 5 次世代教育学部教育経営学科〔通信教育課程〕に関しては、「環太平洋大学通信教育課程規程」に定める。

第3章 修業年限・学年・学期・授業・休業日

(修業年限及び在学年限)

- 第5条 前条に定める体育学部、次世代教育学部、経済経営学部(以下、「学部」という)の修業年限は、4年とする。
- 2 ただし、第12条の規定により、第2年次に編入学又は転入学した者は1年の課程を修了し、第3年次に編入学又は転入学した者は2年の課程を修了したものとみなす。
 - 3 本学の科目等履修生として一定の単位を修得した者が第1年次に入学する場合において、当該単位の修得により本学の教育課程の一部を履修したと認められるときは、2年を超えない範囲で学部が定める期間を修業年限に通算することができる。
 - 4 前項に規定する修業年限の通算は、大学の学生以外の者で、かつ大学入学資格を有する者が修得した単位に限って行うものとする。
 - 5 第36条第2項の規定による場合の修業年限は、3年以上4年未満とする。
 - 6 在学期間は、通信教育課程(以下、「通信課程」という)の学生を除き、修業年限の2倍の年数を超えて在籍できない。

(学年の終始時期)

- 第6条 4月入学者の学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。
- 2 10月入学者の学年は、10月1日に始まり、翌年9月30日に終わる。

(学期の終始時期)

第7条 学年を前期、後期に分けて次のとおりとする。

- (1) 4月入学

前期 4月1日から9月30日まで

後期 10月1日から翌年3月31日まで

(2)10月入学

春学期 4月1日から9月30日まで

秋学期 10月1日から翌年3月31日まで

2 必要がある場合は、学長は学期を変更することができる。

(休業日)

第8条 本学の休業日は、次のとおりとする。

(1) 日曜日

(2) 国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に定める休日

(3) 創立記念日

(4) 夏季休業 8月4日から9月23日まで

(5) 冬季休業 12月26日から翌年1月5日まで

(6) 春季休業 2月15日から3月31日まで

2 休業日においても必要がある場合は授業を行うことがある。

3 必要がある場合は、学長は前項の休業日を臨時に変更し、また臨時の休業日を定めることができる。

第4章 入学、転・編入学、転部・転科、転籍、休学、退学、除籍、再入学及び留学

(入学時期)

第9条 入学の時期は学期の始めとする。

(入学資格)

第10条 本学に入学することができる者は、次の各号の一に該当する者とする。

(1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者

(2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者

(3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者

(4) 文部科学大臣が高等学校の課程に相当する課程を有するものとして指定した在外教育施設の当該課程を修了した者

(5) 文部科学大臣の指定した者

(6) 大学入学資格検定規程により文部科学大臣の行う大学入学資格検定に合格した者

(7) 高等学校卒業程度認定試験規則により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者

(8) 修業年限が3年の専修学校の高等課程を修了した者

(9) 相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると本学において認められた者

(入学手続き及び入学許可)

第11条 本学の入学手続きは、次のとおりとする。

(1) 本学に入学しようとする者は、本学の定める入学願書、その他の書類に必要事項を記載し、入学検定料(通学課程)又は選考料(通信課程)を添えて指定期日までに出席しなければならない。

(2) 前号の手続きを終了した者に対して入学試験を行い、入学者を決定する。

(3) 前項の選考結果に基づいて合格の通知を受けた者は、所定の期日までに保証人を定め、本学所定の書類を提出するとともに、所定の学費を納付しなければならない。

(4) 保証人は、学生の在学中の学費・生活・勉学・素行のすべてのことについて責任を負うものとし、本人の父母又はそれに代わるべき人でなければならない。

(5) 保証人が死亡又は前項の要件を欠いたときは、ただちに保証人変更の届け出をしなければならない。

(6) 前項までの規定にかかわらず、通信課程にあっては、入学手続きにおいて保証人を省略することができる。

る。

(7) 学長は、前項の入学手続きを完了した者に入学を許可する。

(編入学及び転入学)

第12条 本学に編入学又は転入学を志願する者があるときは、学歴及び学力を審査して、学長が相当年次に入学を許可することができる。

- 2 前項の規定により入学を許可された者が既に修得した授業科目及び単位数の取り扱い、並びに在学すべき年数については、教授会の意見を聴いて、学長が決定する。
- 3 3年次に編入学又は転入学できる者は、次の各号の一に該当する者とする。
 - (1) 大学を卒業した者又は大学に2年以上在籍し所定の単位を修得した者
 - (2) 短期大学を卒業した者
 - (3) 高等専門学校を卒業した者
 - (4) 独立行政法人大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者
 - (5) 外国の大学・短期大学等を卒業又2年以上在籍し、所定の単位以上を修得した者
 - (6) 専修学校の専門課程(修業年限が2年以上で、課程修了に必要な総授業時間数が1700時間以上であること、及びその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る)を修了した者
 - (7) 柔道整復師学校・柔道整復師養成施設を修了した者(体育学部健康科学科に限る)
- 4 2年次に編入学又は転入学できる者は、次の各号の一に該当する者とする。
 - (1) 大学・短期大学に1年以上在籍し所定の単位を修得した者
 - (2) 外国の大学・短期大学等に1年以上在籍し、所定の単位以上を修得した者
 - (3) 専修学校の専門課程に1年以上在籍し、所定の単位を修得した者
 - (4) 医療系の養成施設等を修了した者で、学校教育法90条に規定する大学入学資格を有する者
- 5 編入学又は転入学の時期は、第9条に定める入学の時期とする。
- 6 編入学又は転入学に関して必要な事項は別に定める。

(転部・転科)

第13条 本学の学生が他の学部・学科へ転部・転科を志望するときは、転部・転科願いを差し出して許可を受けるとし、欠員のある場合に限り、選考の上、これを許可することができる。

(転籍)

第14条 学部の通学課程の学生が通信課程へ、又は通信課程の学生が学部の通学課程へ転籍を志望するときは、学長は教授会の意見を聴いて、これを許可することができる。

2 転籍に関して必要な事項は、別に定める。

(休学)

第15条 学生が疾病その他やむを得ない事由によって、2か月以上休学する場合は、その事由を記載した書類及び診断書を提出して、学長の許可を受けなければならない。

- 2 前項の者が休学しようとする場合、1年を超えて休学することはできない。また、やむを得ず1年を超えて休学しようとする場合は、改めて所定の手続きをとり、学長の許可を受けなければならない。
- 3 休学の願い出は、各学期開始の前日までを原則とする。

(休学期間及び復学)

第16条 休学期間は、通算して4年を超えることはできない。

- 2 休学者は、休学期間中は授業に出席、又は試験を受験することはできない。
- 3 休学者は、休学期間中にその理由が消滅した場合は、学長の許可を受けた上で、休学期間を短縮して学期の途中で復学することができる。
- 4 休学の期間は第5条の在学年限に算入しない。

(退学)

第 17 条 退学しようとする者は、保証人の連署の上、その事由を記載した書類を提出し、学長の許可を受けなければならない。ただし、通信課程にあつては、「保証人連署」を省略することができる。

2 退学を願い出る者は、退学する日を含む学期の学納金等を全額納入していなければならない。ただし、休学を許可された期間内においてはこの限りではない。

(除籍)

第 18 条 次の各号の一に該当する者は、除籍処分とする。

- (1) 在学期間が所定の年数を超える者
- (2) 授業料等の学納金を滞納し、催促してもこれに応じない者
- (3) 第 16 条に定める休学の期間を超えてなお復学できない者
- (4) 長期間にわたり行方不明の者
- (5) 学内外において法律に反する行為をした者
- (6) 死亡した者

(再入学)

第 19 条 以下の各号のいずれかに該当する者が、再入学を願い出たときは、欠員がある場合に限り、在学していたときの成績を考慮して、再入学を許可することがある。

- (1) 第 17 条第 1 項に定める退学者
- (2) 第 18 条第 1 項に定める除籍者の内、第 3 号に定める者
- (3) その他、学長が特に認める者

2 前項の定めにかかわらず、通信課程にあつては、第 17 条第 1 項に定める者及び除籍後の期間が3年を超えない者が再入学を願い出た場合も、以前に在学していたときの成績を考慮して相当な年次に再入学を許可することができる。

(留学)

第 20 条 本学の学生で、外国の大学又はこれに相当する高等教育機関(以下「外国の大学等」とする)への留学を願い出た場合において、教育上有益と認められるときは、次の条件でこれを認めることがある。

- (1) 前項による留学期間は、4年を限度とする。
- (2) 留学期間のうち、在学年数に算入することのできる期間は、2年以内の期間とする。

2 本学の学生が本学と協定を提携した外国の大学等へ短期間の留学を願い出た場合は、これを許可することがある。

3 留学によって修得した単位は、60 単位を超えない範囲で本学において履修した単位として認定することができる。

4 本学と学生交換に関する協定のある外国の大学等の教育機関又はその他の外国の大学等の教育機関の授業科目の履修を希望する者があつたときは、学長が教育上有益と認めた場合に限り、ダブルディグリー制度に基づく留学(以下「ダブルディグリー留学」という)としてこれを許可することができる。

5 ダブルディグリー留学に関する事項は別に定める。

第5章 教育課程及び履修方法等

(教育課程の編成)

第 21 条 教育課程は、学部の目的を達成するために必要な授業科目を開設して、体系的に編成するものとする。

2 授業科目は、教養科目と専門科目群に区分し、必修科目及び選択科目に分ける。授業科目名及び単位数は、別表第1のとおりとする。

3 教育職員免許状の授与を受けようとする学生は、教育職員免許法(昭和 24 年法律第 147 号)に基づき、同法第 4 条に定める免許状の種類に応じて、教育職員免許法施行規則(昭和 29 年文部省令第 26 号)に規定するそれぞれの教科目及び単位数を修得しなければならない。

4 本学で修得できる教育職員免許状の種類及び教科は、別表第2のとおりとする。

- 5 児童福祉法第 18 条の 6 による保育士の資格を得ようとする学生は、別表第3のとおり児童福祉法施行規則第 6 条の 2 の 2 第 1 項第 3 号に規定する教科目及び単位数を修得しなければならない。
- 6 健康科学科を卒業しようとする学生は、柔道整復師法第 3 条による柔道整復師免許の受験資格を取得するために、別表第4に定める履修方法及び卒業要件に沿って、柔道整復師法第 12 条に規定する教科目及び単位数を修得しなければならない。
- 7 授業科目の種類、単位数及び履修方法に関して必要なことは、別にこれを定める。

(授業の方法)

- 第 22 条 授業は講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより、又はこれらの併用により行うものとする。
- 2 前項の授業は、文部科学大臣の定めるところにより、多様なメディアを高度に利用して当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。
 - 3 第 1 項の授業は、外国において履修させることができる。前項の規定により、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させる場合についても、同様とする。

(通信課程の授業の方法)

- 第 23 条 授業は、印刷教材等による授業、面接授業若しくはメディアを利用して行う授業のいずれか、又はこれらの併用により行う。
- 2 印刷教材等による授業は、主として印刷教材等により学修させる授業、面接授業は、本学の校舎又は他の適当な場所において実施する授業をいう。なお、面接授業及びメディアを利用して行う授業を実施する授業科目、授業の実施方法及び費用等は別に定める。
 - 3 印刷教材等による授業は、学生は、所定の課題について報告課題(以下「レポート」という)を提出し、添削指導を受けるものとする。なお、印刷教材等による授業における質疑については、所定の質問票によって行うものとする。
 - 4 第 1 項の授業は、外国において履修させることができる。

(単位の計算方法)

- 第 24 条 授業科目の単位数は、1 単位の授業科目を 45 時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算するものとする。
- (1) 講義、演習、及び講義・演習については、15 時間の授業をもって 1 単位とする。
 - (2) 実験、実習、及び実技については、30 時間の授業をもって 1 単位とする。
- 2 前項の規定にかかわらず、卒業研究等の授業科目については、学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合には、これらに必要な学修等を考慮して、単位数を定めることができる。

(通信課程における単位の計算方法)

- 第 25 条 各授業科目の単位数は、1 単位の授業科目を 45 時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、次の基準により計算する。
- (1) 印刷教材等による授業については、45 時間の学修を必要とする教材等の学修をもって 1 単位とする。
 - (2) 面接授業の講義及び演習(メディアを利用して行う授業を含む)については、15 時間の授業をもって 1 単位とする。
 - (3) 面接授業の実験、実習及び実技(メディアを利用して行う授業を含む)については、30 時間をもって 1 単位とする。
- 2 前項の規定にかかわらず、卒業論文及び卒業研究については、これに必要な学習を考慮して単位数を定めることができる。

(履修科目の登録の上限)

- 第 26 条 卒業の要件として年間に履修登録することができる単位数の上限は、複数の免許及び資格科目を取得する場合を除き 40 単位とする。

- 2 前項の規定にかかわらず、4 年生以上、編入学生、転学部・転学科をした学生、ならびに成績優秀者については、履修登録上限単位数を超えて最大 48 単位まで履修登録できる。
- 3 以下の各号に定める単位は履修登録上限単位数に含めないものとする。
 - (1) 集中講義として開講する授業科目の単位
 - (2) 教育職員免許状・資格にかかわる実習の単位(教育実習・保育実習)
- 4 前三項の規定にかかわらず、上限を超えて科目を履修する特別な事情がある場合は、教授会の意見を聴いて、学長がこれを認めることができる。

(他の大学又は短期大学における授業科目の履修等)

- 第 27 条 本学は、教育上有益と認めるときは、他の大学又は短期大学(以下「大学等」という)等との協議に基づき、学生が当該他の大学等において履修した授業科目について修得した単位を、卒業に必要な単位として 60 単位を超えない範囲で本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。
- 2 前項の規定は、本学の承認を受けて、学生が外国の大学等に留学する場合及び外国の大学等が行う通信教育による授業科目をわが国において修得した場合にも準用する。

(大学以外の教育施設等における学修)

- 第 28 条 本学は、教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を本学における授業科目の履修とみなし、学長の定めるところにより単位を与えることができる。
- 2 前項により卒業に必要な単位として与えることができる単位数は、前条第 1 項及び 2 項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて 60 単位を超えないものとする。

(入学前の既修得単位等の認定)

- 第 29 条 本学は、教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に大学等(外国の大学等を含む)において履修した授業科目について修得した単位(科目等履修生として修得した単位を含む)を、本学に入学した後の本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。
- 2 本学は、教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に行った前条第 1 項に規定する学修を本学における授業科目の履修とみなし、学長の定めるところにより単位を与えることができる。
 - 3 前 2 項の規定により修得したものとみなし、又は与えることができる単位数は、編入学、転入学等の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、第 27 条第 2 項及び前条 2 項により本学において修得したとみなす単位数と合わせて 60 単位を超えないものとする。

(修業年限の通算)

- 第 30 条 本学の学生以外の者で、一定の単位を修得した者が本学に入学する場合において、当該単位の修得により本学の教育課程の一部を履修したと認められるときは、文部科学省の定めるところにより修得した単位数その他の事項を勘案して修業年限に通算することができる。ただし、その期間は、2年を超えない範囲とする。

第6章 試験及び成績

(単位の認定方法)

- 第 31 条 授業科目修了の認定は、平素の成績及び筆記試験、又は論文によるものとする。ただし、実験、実習、実技等は適切な方法により学修の成果を評価して所定の単位を認定することができる。

(成績の評価)

- 第 32 条 授業科目の試験の成績は、S、A、B、C 及び D の 5 種の評語をもって表し、C 評価以上を合格とする。ただし、必要と認められる場合は、合格及び不合格の評語を用いることができる。
- 2 それぞれの成績は以下のとおりとする。
 - (1) S:100~90 点

- (2) A: 89～80 点
- (3) B: 79～70 点
- (4) C: 69～60 点
- (5) D: 60 点未満

3 なお、不合格となった場合は、前項以外の評語として以下の区分を行うことがある。

- (1) E: 40 点未満の評点により再試験の受験資格がない科目および出席不足(出席数が3分の2未満)科目の評語
- (2) F: 不受験科目の評語

(通信課程における試験の種類等)

第 33 条 試験は、科目修得試験、面接授業試験等とする。

- 2 印刷教材等による授業、放送授業による各授業科目の履修は、レポートを提出し、かつ指定の時期に科目修得試験を受けなければならない。
- 3 面接授業に出席し、履修した授業科目については、指定の時期に面接授業試験を受けなければならない。
- 4 前 2 項の規定に関わらず、卒業論文又は卒業研究の審査をもって試験に代えることができる。

(学修の評価)

第 34 条 単位の認定は試験によるものとし、試験は原則として学期末あるいは学年末に、その履修した授業科目について筆記・口述、レポート、実技等適切な方法によって行う。

- 2 学修の評価は第 32 条の規定に準じ、また出席状況を考慮して評価を行う。
- 3 試験に合格しなかった者には、再試験を行うことがある。

(追試験)

第 35 条 病気その他やむを得ない事故のために前条第 1 項の試験を受けなかった者には、追試験を行うことがある。

第7章 卒業及び学位の授与

(卒業要件)

第 36 条 卒業の要件は、大学に4年以上在学し、第 21 条に定める単位を含めて合計 124 単位以上を修得した者については、教授会の意見を聴いて、学長が卒業を認定することができる。

- 2 前条の規定にかかわらず、本学に3年以上在学した者が、別に定めるところにより、卒業要件として学部の定める単位を優秀な成績で修得した者については、教授会の意見を聴いて、学長が卒業を認定することができる。
- 3 第 20 条第4項に定めるダブルディグリー留学を修了し、第1項に定める要件を満たした者については、教授会の意見を聴いて、学長が卒業を認定することができる。
- 4 第1項に規定する卒業の要件を満たす者が引き続き在学することを希望する場合は、教授会の意見を聴いて、学長は卒業延期を許可することができる。

(通信課程の卒業要件)

第 37 条 学部に4年以上在学し(休学、停学期間を除く)、所定の授業科目について必修科目を含め 124 単位以上を修得した者については、教授会の意見を聴いて、学長が卒業を認定する。

- 2 ただし、修得単位のうち 30 単位以上は面接授業又はメディアを利用して行う授業により単位を修得していなければならない。

(卒業の時期)

第 38 条 卒業の時期は、学年の終了日とする。ただし、前期の終了日まで以前条に規定する卒業要件を満たした場合は、それをもって卒業の時期とすることができる。

(学位の授与)

第 39 条 第 36 条により卒業を認定された者には、卒業した学部に応じて学士の学位を授与し、「卒業証書・学位記」を交付する。

2 単位互換等の交流協定に基づいて、第 27 条に定める授業科目及び本学所定の授業科目を履修して卒業を認定された者には、卒業した学部に応じて学士の学位を授与し、「卒業証書・学位記」を交付する。

(学位の種類)

第 40 条 学部にあつて前条の卒業を認定された者には次の学位を授与する。

体育学部体育学科 学士(体育学)

体育学部健康科学科 学士(健康科学)

次世代教育学部 学士(次世代教育学)

経済経営学部 学士(経営学)

第8章 学納金等

(学納金)

第 41 条 本学の入学金、授業料、教育充実費、施設設備費(通学課程)等の学納金は、別表第5のとおりとする。

2 入学を許可された者は、入学金、授業料等の学納金を指定された入学手続き期間内に納めなければならない。

3 学生がその在籍中は、出席の有無にかかわらず、授業料を所定の期日までに納入しなければならない。

4 正当な理由がなく、かつ所定の手続を行わずに授業料を3か月以上滞納し、その後においても納入の見込みがないときは、第 18 条第1項第2号により除籍することがある。

(休学の場合の学納金等)

第 42 条 休学中は、授業料等の学納金を納入しなければならない。ただし、休学期間が学期の全期間にわたる場合には、その学期について納入すべき授業料等の学納金を減額する。

(留学の場合の学納金等)

第 43 条 留学中は、授業料等の学納金を納入しなければならない。ただし、本学と協定を提携していない外国の大学等への留学において、その留学期間が学期の全期間にわたる場合には、その学期について納入すべき授業料等の学納金を減額する。

(再入学の場合の学納金等)

第 44 条 第 19 条に定める再入学を許可された者は、授業料、教育充実費、及び施設設備費を所定の期日までに納入しなければならない。

(退学の場合の学納金等)

第 45 条 退学する場合は、退学の日属する学期について納入すべき授業料等の学納金を全額納入しなければならない。

(納付した学納金等)

第 46 条 既に納入した入学金検定料、入学金及び授業料等の学納金は、原則として返還しない。

2 ただし、授業料に関しては、入学以前に届けをもって辞退した場合に限り、納付者の申出により当該授業料相当額を返還することができる。

(手数料等)

第 47 条 手数料の種類及び納入額については別に定める。

2 通信課程にあつて、教材の再交付及び科目認定用教材の交付を請求するときは、別に定める費用を納めなけ

ればならない。

3 前2項に定めるもののほか、特に必要があるときは、特別の手数料又は費用を徴収することができる。

第9章 科目等履修生、特別科目等履修生、外国人学生及び研究生に関する事項

(科目等履修生)

第48条 本学で開講する授業科目のうち、一又は複数の授業科目の一部を履修し、単位を修得しようと希望する者に対しては、本学の教育研究に支障がない限り、選考の上、科目等履修生としてこれを許可することができる。

2 科目等履修生として履修した授業科目の単位の認定については、第31条を準用する。

3 通信課程にあつては、科目等履修生となることができる者は、別に定める。

4 科目等履修生には、第36条及び第37条を適用しない。

5 科目等履修生は、科目等履修料を納付しなければならない。

6 科目等履修料については別に定める。

7 前六項のほか科目等履修生に関し必要な事項は、別に定める。

(特別科目等履修生)

第49条 他の大学又は短期大学等との単位互換協定に基づき、当該他大学等の学生が本学において特定の授業科目を履修し、単位を取得しようとする場合は、特別科目等履修生としてこれを許可することができる。

2 特別科目等履修の開始日は学期の始めとする。

3 特別科目等履修生に関して必要な事項は、当該大学又は短期大学等との協定に基づいて定める。

4 前三項のほか特別科目等履修生に関し必要な事項は、別に定める。

(通信課程における特修生)

第50条 通信課程にあつては、大学に入学する資格のない者には、定員に余裕がある場合に限り、特修生として在籍を許可することができる。ただし、特修生は所定の授業科目を学修するに足る学力があると認められた者に限る。

2 特修生に関して必要な事項は別に定める。

(外国人留学生)

第51条 外国人で、大学において教育を受ける目的を持ち、本学への入学(転入学、編入学及び学士入学を含む)希望する者がある場合は、選考の上、学長は外国人学生として特別に入学を許可することができる。

2 外国人留学生のうち本学と協定を締結した外国の大学の学生で、協定に基づき一定の期間本学に入学を許可された学生を外国人協定留学生という。

3 前二項のほか外国人留学生に関し必要な事項は、別に定める。

(研究生)

第52条 本学において特定の教員の下で特定の事項について研究することを志願する者に対しては、本学の教育研究に支障がないと認められる場合に限り、選考の上、研究生として入学を許可することができる。

2 前項のほか研究生に関し必要な事項は、別に定める。

第10章 教職員組織

(教職員)

第53条 本学に、学長、学部長、学科長、教授、准教授、講師、助教、助手、事務局長、事務職員を置く。

2 本学には前項のほか、副学長、その他必要な教職員を置くことができる。

3 学長は、学務を総括し、教員の服務について監督する。

4 副学長は、学長を助け、学長の命を受けて校務をつかさどる。

- 5 学部長は、学部に関する学務を掌理する。
- 6 学科長は、学科に関する学務を掌理する。
- 7 教授は、専攻分野について、教育上、研究上又は実務上の特に優れた知識、能力及び実績を有する者であつて、学生を教授し、その研究を指導し、又は研究に従事する。
- 8 准教授は、専攻分野について、教育上、研究上又は実務上の優れた知識、能力及び実績を有する者であつて、学生を教授し、その研究を指導し、又は研究に従事する。
- 9 講師は、教授又は准教授に準ずる職務に従事する。
- 10 助教は、専攻分野について、教育上、研究上又は実務上の知識及び能力を有する者であつて、学生を教授し、その研究を指導し、又は研究に従事する。
- 11 助手は、その所属する組織における教育研究の円滑な実施に必要な業務に従事する。
- 12 事務局長は、学長を補佐して学務に関する事務を統括し、事務職員の服務について監督する。
- 13 事務職員は、事務局長の命を受けて事務を行う。

(教育経営会議)

第 54 条 本学に教育経営会議(以下「会議」という。)を置く。

2 会議は、次に掲げる者をもって組織する。

- (1) 学長
- (2) 副学長
- (3) 学部長
- (4) 学科長
- (5) 事務局長
- (6) その他学長が指名する者

3 会議は、次に掲げる事項を審議する。

- (1) 大学の教育研究の向上に係る基本的な計画に関する事項
- (2) 学則その他教育研究に係る重要な規則に関する事項
- (3) 大学の教育課程編成の方針に関する事項
- (4) 学生の教育・厚生及び補導に関する重要事項
- (5) 学生の入学、卒業等、その在籍に関する方針及び学位の授与に関する方針に係る事項
- (6) 大学の教育研究活動等の状況について、本学が行う評価に関する事項
- (7) その他理事会から付議又は諮問された事項

4 教育経営会議に関して必要な事項は教育経営会議規則で定める。

第 11 章 教授会

(教授会)

第 55 条 本学の学部には教授会を置く。

2 教授会は、各学部の学部長、専任の教授及び准教授をもって構成する。

3 前項の規定にかかわらず、教授会に、その他の教職員を加えることができる。

4 教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

- (1) 学生の入学、卒業及び課程の修了その他学生の在籍に関する事項
- (2) 学位の授与に関する事項
- (3) その他学長が必要と認めた事項

5 教授会に関して必要な事項は教授会規則で定める。

第 12 章 賞罰

(褒賞)

第 56 条 本学の学生として、品行方正、成績優秀にして、他の模範となる者を褒賞することがある。

(懲戒)

第 57 条 学生が、本学則その他本学の定める諸規則に違反して、学生としての本分にもとる行為があったときは、学長が懲戒処分を行うことがある。

2 前項の懲戒の種類は、訓告、停学及び退学とする。

3 退学は、教授会の意見を聴いて、学長が次の各号の一に該当する学生に対して行うものとする。

- (1) 性行不良で、改善の見込みがないと認められる者
- (2) 学力劣等で、成業の見込みがないと認められる者
- (3) 正当な理由がなくて、出席が常でない者
- (4) 本学の秩序を乱すなど、学生としての本分に反したと認められる者

第 13 章 公開講座

(公開講座)

第 58 条 本学は、地域の教育、文化の向上に寄与するため、公開講座を開催することができる。

第 14 章 附属施設

(図書館)

第 59 条 本学に図書館を置く。

2 本学の教職員及び学生は、別に定める附属図書館規程に従って図書を読覧することができる。

(アドミッションセンター、キャリアセンター)

第 60 条 本学にアドミッションセンター、キャリアセンターを置く。

2 アドミッションセンター、キャリアセンターに関する規程は、別にこれを定める。

(国際・教養教育センター、スポーツ科学センター、次世代情報センター、学生センター)

第 61 条 本学に国際・教養教育センター、スポーツ科学センター、次世代情報センター、学生センターを置く。

2 国際・教養教育センター、スポーツ科学センター、次世代情報センター、学生センターに関する規程は、別にこれを定める。

(次世代教育開発センター、地域・社会連携センター)

第 62 条 本学に次世代教育開発センター、地域・社会連携センターを置く。

2 次世代教育開発センター、地域・社会連携センターに関する規程は、別にこれを定める。

(初年次教育部)

第 63 条 本学に初年次教育部を置く。

2 初年次教育部に関する規程は、別にこれを定める。

(国際科学・教育研究所)

第 64 条 本学に国際科学・教育研究所を置く。

2 国際科学・教育研究所に関する規程は、別にこれを定める。

第 15 章 留学生別科

(留学生別科)

第 65 条 本学に留学生別科(以下「別科」という。)を置く。

2 別科に関する規程は、別にこれを定める。

第16章 その他

(学生寮)

第66条 本学の学生寮に関する事項は、別にこれを定める。

(健康診断)

第67条 健康診断は、毎年1回、別に定めるところにより実施する。

(その他)

第68条 この学則の施行に関し必要な事項は、学長がこれを定める。

(改廃)

第69条 この学則の改廃は、理事会が行う。

附則

この学則は、文部科学大臣の大学設置認可の日(平成18年11月30日)から施行する。

附則

この学則は、平成19年7月13日から施行する。

附則

この学則は、平成20年4月1日から施行する。

附則

この学則は、平成21年4月1日から施行する。

附則

この学則は、平成22年4月1日から施行する。

附則

この学則は、平成23年4月1日から施行する。

附則

1 この学則は、平成24年4月1日から施行する。ただし、平成24年度入学生から適用し、施行前に在学している学生については、従前の学則による。

2 第4条に規定する各学部・学科の収容定員は、平成24年度から平成26年度までの間、次のとおりとする。

学部名	学科名	平成24年度	平成25年度	平成26年度
体育学部	体育学科	440人	480人	520人
	健康科学科	60人	120人	180人
次世代教育学部	乳幼児教育学科	300人	200人	100人
	こども発達学科	80人	160人	240人
	学級経営学科			
	初等教育専攻	240人	160人	80人
	中等教育英語専攻	60人	40人	20人
	教育経営学科			
	初等教育専攻	100人	200人	300人
中等教育英語専攻	20人	40人	60人	
	国際教育学科	100人	200人	300人
通学課程 計		1400人	1600人	1800人
次世代教育学部	学級経営学科			
	〔通信教育課程〕			
	初等教育専攻	1360人	1120人	560人
	中等教育英語専攻	340人	280人	140人

	教育経営学科 〔通信教育課程〕 初等教育専攻 中等教育英語専攻	240人 60人	480人 120人	1040人 260人
通信課程 計		2000人	2000人	2000人
合 計		3400人	3600人	3800人

3 次世代教育学部乳幼児教育学科及び学級経営学科は、平成24年3月31日に当該学科に在籍する者が、当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

附 則

この学則は、平成24年8月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成24年12月19日から施行する。

ただし、第4条については、平成25年4月1日より施行する。

附 則

1 この学則は、平成25年4月1日から施行する。

2 第4条に規定する各学部・学科の収容定員は、平成25年度から平成27年度までの間、次のとおりとする。

学部名	学科名	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
体育学部	体育学科	480人	520人	560人		
	健康科学科	120人	180人	240人		
次世代教育学部	乳幼児教育学科	200人	100人	—		
	こども発達学科	160人	240人	320人		
	学級経営学科 初等教育専攻 中等教育英語専攻	160人 40人	80人 20人	— —		
		教育経営学科 初等教育専攻 中等教育英語専攻	200人 40人	300人 60人	400人 80人	
	国際教育学科	200人	300人	400人		
	通学課程 計		1600人	1800人	2000人	
	次世代教育学部	学級経営学科 〔通信教育課程〕 初等教育専攻 中等教育英語専攻	800人 200人	240人 60人	— —	
教育経営学科 〔通信教育課程〕 初等教育専攻 中等教育英語専攻 中等教育数学専攻 看護教育専攻			590人 260人 200人 90人	940人 460人 400人 180人	990人 510人 450人 190人	
		通信課程 計		2140人	2280人	2140人
		合 計		3740人	4080人	4140人

附 則

1 この学則は、平成26年4月1日より施行する。

2 別表第1（次世代教育学部教育経営学科通信教育課程〔初等教育専攻〕（幼稚園教諭免許状の取得特例科目）については、平成26年4月1日から平成32年3月31日までの間施行する。

- 3 別表第2 幼稚園教諭一種免許状 通信教育課程【2013年度生以降対象】(幼稚園教諭免許状の取得特例科目)については、平成26年4月1日から平成32年3月31日までの間施行する。

附 則

- 1 この学則は、平成27年4月1日から施行する。
2 第4条に規定する各学部・学科の収容定員は、平成27年度から平成29年度までの間、次のとおりとする。

学部名	学科名	平成27年度	平成28年度	平成29年度
体育学部	体育学科	620人	680人	740人
	健康科学科	240人	240人	240人
次世代教育学部	こども発達学科	320人	320人	320人
	教育経営学科			
	初等教育専攻	400人	400人	400人
	中等教育英語専攻	80人	80人	80人
	国際教育学科	400人	400人	400人
通学課程 計		2060人	2120人	2180人
次世代教育学部	教育経営学科 〔通信教育課程〕			
	初等教育専攻	990人	800人	800人
	中等教育英語専攻	510人	500人	500人
	中等教育数学専攻	450人	500人	500人
	看護教育専攻	190人	200人	200人
通信課程 計		2140人	2000人	2000人
合 計		4200人	4120人	4180人

附 則

- 1 この学則は、平成28年4月1日から施行する。
2 第4条に規定する各学部・学科の収容定員は、平成28年度から平成30年度までの間、次のとおりとする。

学部名	学科名	平成28年度	平成29年度	平成30年度
体育学部	体育学科	680人	740人	800人
	健康科学科	240人	240人	240人
次世代教育学部	こども発達学科	320人	320人	320人
	教育経営学科			
	小学校教育専攻	400人	400人	400人
	中高英語教育専攻	80人	80人	80人
	国際教育学科	300人	200人	100人
経営学部	現代経営学科	200人	400人	650人
通学課程 計		2220人	2380人	2590人
次世代教育学部	教育経営学科 〔通信教育課程〕			
	初等教育専攻	1070人	1040人	710人
	中高英語教育専攻	510人	480人	300人
	中高数学教育専攻	510人	480人	300人
	看護教育専攻	510人	520人	450人
通信課程 計		2600人	2520人	1760人

合 計	4820 人	4900 人	4350 人
-----	--------	--------	--------

3 次世代教育学部国際教育学科は、第4条の規定にかかわらず、平成 31 年 9 月 30 日に当該学科に在籍する者が、当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

附 則

この学則は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

1 この学則は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。

2 第4条に規定する各学部・学科の収容定員は、平成 30 年度から平成 32 年度までの間、次のとおりとする。

学部名	学科名	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
体育学部	体育学科	900 人	1000 人	1100 人
	健康科学科	240 人	240 人	240 人
次世代教育学部	こども発達学科	320 人	320 人	320 人
	教育経営学科			
	小学校教育専攻	400 人	400 人	400 人
	中高英語教育専攻	80 人	80 人	80 人
	国際教育学科	100 人	—	—
経営学部	現代経営学科	650 人	900 人	900 人
通学課程 計		2690 人	2940 人	3040 人
次世代教育学部	教育経営学科 〔通信教育課程〕			
	初等教育専攻	710 人	380 人	380 人
	中高英語教育専攻	300 人	120 人	120 人
	中高数学教育専攻	300 人	120 人	120 人
	看護教育専攻	450 人	380 人	380 人
通信課程 計		1760 人	1000 人	1000 人
合 計		4450 人	3940 人	4040 人

附 則

この学則は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

1 この学則は、令和 2 年 4 月 1 日より施行する。

2 別表第1（次世代教育学部教育経営学科通信教育課程〔初等教育専攻〕）（幼稚園教諭免許状の取得特例科目）については、令和 2 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日までの間施行する。

3 別表第2 幼稚園教諭一種免許状 通信教育課程【2019 年度生以降対象】（幼稚園教諭免許状の取得特例科目）については、令和 2 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日までの間施行する。

附 則

この学則は、令和 3 年 4 月 1 日より施行する。

附 則

- 1 この学則は、令和 4 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 第4条に規定する各学部・学科の収容定員は、令和 4 年度から令和 6 年度までの間、次のとおりとする。

学部名	学科名	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
体育学部	体育学科	1200 人	1200 人	1200 人
	健康科学科	240 人	240 人	240 人
次世代教育学部	こども発達学科	320 人	320 人	320 人
	教育経営学科 小学校教育専攻	400 人	400 人	400 人
	中高英語教育専攻	80 人	80 人	80 人
経済経営学部	現代経営学科	950 人	1000 人	1050 人
通学課程 計		3190 人	3240 人	3290 人
次世代教育学部	教育経営学科 〔通信教育課程〕			
	初等教育専攻	380 人	380 人	380 人
	中高英語教育専攻	120 人	120 人	120 人
	中高数学教育専攻	120 人	120 人	120 人
	看護教育専攻	380 人	380 人	380 人
通信課程 計		1000 人	1000 人	1000 人
合 計		4190 人	4240 人	4290 人

附 則

- 1 この学則は、令和 5 年 4 月 1 日から施行する。

(第21条関係)

別表第1 体育学部体育学科 教育課程

(体育学部 体育学科)【2021年度生以降対象】

科目区分	授業科目の名称	授業種別	配当		単位数			備考
			年次	学期	必修	選択必修	選択	
教養科目	言語・文化領域	日本の伝統文化	講義	1	前期			2
		英会話	演習	1	前期	2		
		英語Ⅰ	演習	1	後期			2
		英語Ⅱ	演習	2	前期			2
		多文化共生のための異文化理解	講義	2	後期			2
		英語Ⅲ	演習	3	前期			2
		英語Ⅳ	演習	3	後期			2
		小計(7科目)	7	—	—	2		12
	汎用的技能領域	IPUジェネリックスキルズⅠ(非認知能力)	講義	1	前期	2		
		TOEICⅠ	講義	1	前期			2
		TOEICⅢ	講義	1	前期			2
		コンピュータリテラシーⅠ	演習	1	前期	2		
		体育実技	実技	1	前期	1		
		体育理論	講義	1	後期	1		
		IPUジェネリックスキルズⅡ(アカデミック)	講義	1	後期	2		
		TOEICⅡ	講義	1	後期			2
		TOEICⅣ	講義	1	後期			2
		コンピュータリテラシーⅡ	演習	1	後期	2		
		コンピュータリテラシーⅢ	演習	2	前期			2
		IPUジェネリックスキルズⅢ(シチズンシップ)	講義	2	後期			2
		統計学	講義	3	前期			2
		コンピュータリテラシーⅣ	演習	3	前期			2
	小計(14科目)	14	—	—	10		16	
	人間・表現領域	表現活動による人間力養成Ⅰ	演習	1	通年			2
		心理学	講義	1	前期			2
		倫理学(宗教を含む)	講義	1	後期			2
		表現活動による人間力養成Ⅱ	演習	2	通年			2
		人権と教育	講義	2	前期			2
		ライフコーチング	演習	2	後期			2
		表現活動による人間力養成Ⅲ	演習	3	通年			2
		コミュニケーションの心理学	講義	3	前期			2
		表現活動による人間力養成Ⅳ	演習	4	通年			2
		人間と法	講義	4	前期			2
	小計(10科目)	10	—	—	0		20	
	数理領域	数学基礎	講義	2	前期			2
		数学	講義	2	後期			2
		自然科学基礎	講義	3	前期			2
		食育論	講義	3	前期			2
		生化学	講義	3	前期			2
		小計(5科目)	5	—	—	0		10
	社会領域	政治・経済学	講義	1	後期			2
		日本国憲法	講義	1	後期			2
		経営学	講義	2	前期			2
		労働法規	講義	3	前期			2
		近現代史	講義	3	後期			2
		地理・地政学	講義	3	後期			2
		労働安全衛生法	講義	3	後期			2
		小計(7科目)	7	—	—	0		14
	キャリア領域	フレッシュマンセミナー	講義	1	通年	2		
		基礎ゼミナールⅠ	演習	1	通年	2		
		ボランティア活動Ⅰ	演習	1	集中			2
		キャリアディベロップメント	講義	2	通年	2		
基礎ゼミナールⅡ		演習	2	通年	2			
ボランティア活動Ⅱ		演習	2	集中			2	
キャリアデザインⅠ		講義	3	前期	1			
キャリアデザインⅡ		講義	3	後期	1			
キャリアサポート		講義	4	前期			2	
小計(9科目)		9	—	—	10		6	
合計(52科目)		52	—	—	22		78	

(第21条関係)
別表第1 次世代教育学部こども発達学科 教育課程

(次世代教育学部 こども発達学科)【2020年度生以降対象】

科目区分	授業科目の名称	授業種別	配当		単位数		備考
			年次	学期	必修	選択	
言語・文化領域	日本の伝統文化	講義	1	前期		2	
	英会話	演習	1	前期	2		
	英語Ⅰ	演習	1	後期		2	
	英語Ⅱ	演習	2	前期		2	
	多文化共生のための異文化理解	講義	2	後期		2	
	英語Ⅲ	演習	3	前期		2	
	英語Ⅳ	演習	3	後期		2	
	小計(7科目)	7	—	—	2	12	
汎用的技能領域	IPUジェネリックスキルズⅠ(非認知能力)	講義	1	前期	2		
	TOEICⅠ	講義	1	前期		2	
	TOEICⅢ	講義	1	前期		2	
	コンピューターテラシーⅠ	演習	1	前期	2		
	体育実技	実技	1	前期	1		
	体育理論	講義	1	後期	1		
	IPUジェネリックスキルズⅡ(アカデミック)	講義	1	後期	2		
	TOEICⅡ	講義	1	後期		2	
	TOEICⅣ	講義	1	後期		2	
	コンピューターテラシーⅡ	演習	1	後期	2		
	コンピューターテラシーⅢ	演習	2	前期		2	
	IPUジェネリックスキルズⅢ(シチズンシップ)	講義	2	後期		2	
	統計学	講義	3	前期		2	
	コンピューターテラシーⅣ	演習	3	前期		2	
小計(14科目)	14	—	—	10	16		
人間・表現領域	表現活動による人間力養成Ⅰ	演習	1	通年		2	
	心理学	講義	1	前期		2	
	倫理学(宗教を含む)	講義	1	後期		2	
	表現活動による人間力養成Ⅱ	演習	2	通年		2	
	人権と教育	講義	2	前期		2	
	ライフコーチング	演習	2	後期		2	
	表現活動による人間力養成Ⅲ	演習	3	通年		2	
	コミュニケーションの心理学	講義	3	前期		2	
	表現活動による人間力養成Ⅳ	演習	4	通年		2	
	人間と法	講義	4	前期		2	
	小計(10科目)	10	—	—	0	20	
数理領域	数学基礎	講義	2	前期		2	
	数学	講義	2	後期		2	
	自然科学基礎	講義	3	前期		2	
	食育論	講義	3	前期		2	
	生化学	講義	3	前期		2	
	小計(5科目)	5	—	—	0	10	
社会領域	政治・経済学	講義	1	後期		2	
	日本国憲法	講義	1	後期		2	
	経営学	講義	2	前期		2	
	労働法規	講義	3	前期		2	
	近現代史	講義	3	後期		2	
	地理・地政学	講義	3	後期		2	
	労働安全衛生法	講義	3	後期		2	
	小計(7科目)	7	—	—	0	14	
キャリア領域	フレッシュマンセミナー	講義	1	通年	2		
	基礎ゼミナールⅠ	演習	1	通年	2		
	ボランティア活動Ⅰ	演習	1	集中		2	
	キャリアディベロップメント	講義	2	通年	2		
	基礎ゼミナールⅡ	演習	2	通年	2		
	ボランティア活動Ⅱ	演習	2	集中		2	
	キャリアデザインⅠ	講義	3	前期	1		
	キャリアデザインⅡ	講義	3	後期	1		
	キャリアサポート	講義	4	前期		2	
	小計(9科目)	9	—	—	10	6	
合計(52科目)		52	—	—	22	78	

(第21条関係)
別表第1 次世代教育学部こども発達学科 教育課程

(次世代教育学部 こども発達学科)【2020年度生以降対象】

科目区分	授業科目の名称	授業種別	配当		単位数		備考	
			年次	学期	必修	選択		
専門基礎科目	次世代教育学総論	講義	1	前期	2			
	小計(1科目)	1	—	—	2	0		
	保育・幼児教育の基礎理論	教職入門A	講義	1	前期	2		
		保育原理	講義	1	前期	2		
		教育の思想と原理A	講義	1	後期	2		
		保育者論	講義	1	後期	2		
		社会的養護 I	講義	2	前期	2		
		社会的養護 II	演習	2	後期		2	
		教育方法・技術論(初等)	講義	3	前期	2		
		小計(7科目)	7	—	—	12	2	
	保育・幼児教育の基礎技能	器楽演習 I	演習	1	前期		2	
		器楽演習 II	演習	1	後期		2	
		器楽演習 III	演習	2	前期		2	
		器楽演習 IV	演習	2	後期		2	
		小計(4科目)	4	—	—	0	8	
	領域・教科等に関する基礎理解	美術の理解	演習	1	前期	2		
		音楽の理解	演習	1	前期	2		
		数の理解	講義	1	後期		2	
運動・健康の理解		演習	1	後期	2			
生活の理解		演習	2	前期		2		
言葉の理解		講義	2	後期		2		
小計(6科目)		6	—	—	6	6		
合計(18科目)		18	—	—	20	16		

(第21条関係)
別表第1 次世代教育学部こども発達学科 教育課程

(次世代教育学部 こども発達学科)【2020年度生以降対象】

科目区分	授業科目の名称	授業種別	配当		単位数		備考	
			年次	学期	必修	選択		
コア科目	子どもの発達に関する領域	教育心理学A	1	前期	2			
		発達心理学A	1	後期	2			
		子ども家庭支援の心理学	2	前期	2			
		教育社会学	2	前期	2			
		家族心理学	2	後期		2		
		子育て論	2	後期		2		
		子どもの理解と援助	2	後期	2			
		幼児心理学Ⅰ	3	前期		1		
		特別支援教育論A	3	後期	2			
		幼児心理学Ⅱ	3	後期		1		
		子どものこころ	3	集中		2		
		幼児心理学Ⅲ	4	前期		1		
		小計(12科目)	12	—	—	12	9	
	保育・幼児教育に関する領域	社会福祉学	講義	1	前期		2	
		子どもの保健	講義	1	前期		2	
		教育課程論(幼児)	講義	1	後期	2		
		子ども家庭福祉	講義	1	後期		2	
		保育内容総論	演習	2	前期		2	
		子どもと環境	演習	2	前期	2		
		表現C(身体表現)	演習	2	前期	2		
		障害児保育	演習	2	前期		2	
		乳児保育Ⅰ	講義	2	後期	2		
		子どもと人間関係	演習	2	後期	2		
		子どもと言葉	演習	2	後期	2		
		子どもと健康	演習	2	後期	2		
		表現A(造形表現)	演習	2	後期	2		
		表現B(音楽表現)	演習	2	後期	2		
		子ども家庭支援論	講義	3	前期		2	
		子ども子育て教育相談	演習	3	前期	2		
		子どもの食と栄養	演習	3	前期		2	
		乳児保育Ⅱ	演習	3	前期		2	
子どもとマルチメディア	演習	3	後期		2			
小計(19科目)	19	—	—	20	18			

(第21条関係)
別表第1 次世代教育学部こども発達学科 教育課程

(次世代教育学部 こども発達学科)【2020年度生以降対象】

科目区分	授業科目の名称	授業種別	配当		単位数		備考
			年次	学期	必修	選択	
コア科目	保育・幼児教育実践に関する領域	ニュージーランド保育	1	前期		1	
		保育マネジメント演習Ⅰ	2	前期		1	
		保育実習指導ⅠB(施設)	2	前期		1	
		保育実習指導ⅠA(保育所)	2	後期		1	
		保育マネジメント演習Ⅱ	2	後期		1	
		保育実習ⅠA(保育所)	2	集中		2	
		保育実習ⅠB(施設)	2	集中		2	
		学校支援ボランティア	2・3	集中		1	
		幼児英語指導法Ⅰ	3	前期		1	
		幼児体育指導法Ⅰ	3	前期		1	
		保育マネジメント演習Ⅲ	3	後期		1	
		幼児英語指導法Ⅱ	3	後期		1	
		幼児体育指導法Ⅱ	3	後期		1	
		保育実習指導Ⅱ(保育所)	3	集中		1	
		保育実習指導Ⅲ(施設)	3	集中		1	
		保育実習Ⅱ(保育所)	3	集中		2	
		保育実習Ⅲ(施設)	3	集中		2	
		教育実習事前・事後指導(幼稚園)	3・4	集中		1	
		教育実習Ⅰ(幼稚園)	3・4	集中		2	
		教育実習Ⅱ(幼稚園)	3・4	集中		2	
		保育マネジメント演習Ⅳ	4	前期		1	
		幼児英語指導法Ⅲ	4	前期		1	
		幼児体育指導法Ⅲ	4	前期		1	
		保育・教職実践演習(幼稚園)	4	後期		2	
小計(24科目)	24	—	—	0	31		
インターンシップ	海外研修	実習	1・2・3	集中		1	
	インターンシップ	実習	3	集中		2	
	小計(2科目)	2	—	—	0	3	
ゼミナール	ゼミナールⅠ(基礎)	演習	3	通年	4		
	ゼミナールⅡ(応用)	演習	4	通年	4		
	卒業研究	演習	4	通年		4	
	小計(3科目)	3	—	—	8	4	
合計(60科目)		60	—	—	40	65	
その他科目	他学部・他学科科目						
	他大学科目						
合計(130科目)		130	—	—	82	159	

卒業要件及び履修方法				
科目区分	単位数	必修	選択	
教養科目	30	22	8	教養科目より必修科目26単位を含む30単位以上、 専門基礎科目より必修科目10単位を含む28単位以上、 コア科目より必修科目12単位を含む42単位を修得し、 合計124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:年間40単位)
専門基礎科目	28	20	8	
コア科目	42	38	4	
全体	24	0	24	
合計	124	80	44	

(第21条関係)
別表第1 次世代教育学部教育経営学科 教育課程

(次世代教育学部 教育経営学科 [小学校教育専攻]) 【2023年度生以降対象】

科目区分	授業科目の名称	授業種別	配当		単位数		備考		
			年次	学期	必修	選択			
教養科目	言語・文化領域	日本の伝統文化	講義	1	前期		2		
	英会話	演習	1	前期	2				
	英語Ⅰ	演習	1	後期		2			
	英語Ⅱ	演習	2	前期		2			
	多文化共生のための異文化理解	講義	2	後期		2			
	英語Ⅲ	演習	3	前期		2			
	英語Ⅳ	演習	3	後期		2			
	小計(7科目)	7	—	—	2	12			
	汎用的技能領域	IPUジェネリックスキルズⅠ(非認知能力)	講義	1	前期	2			
	TOEICⅠ	講義	1	前期		2			
	TOEICⅢ	講義	1	前期		2			
	コンピュータリテラシーⅠ	演習	1	前期	2				
	体育実技	実技	1	前期	1				
	体育理論	講義	1	後期	1				
	IPUジェネリックスキルズⅡ(アカデミック)	講義	1	後期	2				
	TOEICⅡ	講義	1	後期		2			
	TOEICⅣ	講義	1	後期		2			
	コンピュータリテラシーⅡ	演習	1	後期	2				
	コンピュータリテラシーⅢ	演習	2	前期		2			
	IPUジェネリックスキルズⅢ(シチズンシップ)	講義	2	後期		2			
	統計学	講義	3	前期		2			
	コンピュータリテラシーⅣ	演習	3	前期		2			
	小計(14科目)	14	—	—	10	16			
	人間・表現領域	表現活動による人間力養成Ⅰ	演習	1	通年		2		
	心理学	講義	1	前期		2			
	倫理学(宗教を含む)	講義	1	後期		2			
	表現活動による人間力養成Ⅱ	演習	2	通年		2			
	人権と教育	講義	2	前期		2			
	ライフコーチング	演習	2	後期		2			
	表現活動による人間力養成Ⅲ	演習	3	通年		2			
	コミュニケーションの心理学	講義	3	前期		2			
	表現活動による人間力養成Ⅳ	演習	4	通年		2			
	人間と法	講義	4	前期		2			
	小計(10科目)	10	—	—	0	20			
	数理領域	数学基礎	講義	2	前期		2		
	数学	講義	2	後期		2			
	自然科学基礎	講義	3	前期		2			
	食育論	講義	3	前期		2			
	生化学	講義	3	前期		2			
	小計(5科目)	5	—	—	0	10			
	社会領域	政治・経済学	講義	1	後期		2		
	日本国憲法	講義	1	後期		2			
	経営学	講義	2	前期		2			
	労働法規	講義	3	前期		2			
	近現代史	講義	3	後期		2			
	地理・地政学	講義	3	後期		2			
	労働安全衛生法	講義	3	後期		2			
	小計(7科目)	7	—	—	0	14			
	キャリア領域	フレッシュマンセミナー	講義	1	通年	2			
	基礎ゼミナールⅠ	演習	1	通年	2				
	ボランティア活動Ⅰ	演習	1	集中		2			
	キャリアディベロップメント	講義	2	通年	2				
基礎ゼミナールⅡ	演習	2	通年	2					
ボランティア活動Ⅱ	演習	2	集中		2				
キャリアデザインⅠ	講義	3	前期	1					
キャリアデザインⅡ	講義	3	後期	1					
キャリアサポート	講義	4	前期		2				
小計(9科目)	9	—	—	10	6				
合計(52科目)	52	—	—	22	78				

(第21条関係)
別表第1 次世代教育学部教育経営学科 教育課程

(次世代教育学部 教育経営学科 [小学校教育専攻]) 【2023年度生以降対象】

科目区分	授業科目の名称	授業種別	配当		単位数		備考	
			年次	学期	必修	選択		
専門基礎科目	次世代教育学総論	講義	2	前期	2			
	小計(1科目)	1	—	—	2	0		
	教育・指導に関する領域	教育の思想と原理B	講義	1	前期	2		
		教職入門B	講義	1	後期		2	
		総合的な学習の時間の指導法(初等)	講義	2	前期		2	
		特別活動の指導法(初等)	講義	2	前期		2	
		器楽演習 I	演習	2	前期		2	
		生徒指導・進路指導論(初等)	講義	2	後期		2	
		器楽演習 II	演習	2	後期		2	
		道徳教育の理論及び指導法(初等)	講義	3	前期		2	
		教育方法・技術論(初等)	講義	3	前期		2	
		教育課程論(初等)	講義	3	後期		2	
		特別支援教育論B	講義	3	後期		2	
	小計(11科目)	11	—	—	2	20		
	教科等に関する領域	言葉の理解	講義	1	前期		2	
		英語の理解	講義	1	前期		2	
		数の理解	講義	1	前期		2	
		自然の理解	講義	1	後期		2	
		社会の理解	講義	1	後期		2	
		音楽の理解	演習	2	前期		2	
		美術の理解	演習	2	前期		2	
		衣・食・住の理解	講義	2	後期		2	
		生活の理解	演習	2	後期		2	
		運動・健康の理解	演習	2	前期		2	
	小計(10科目)	10	—	—		20		
	日本語教育に関する領域	日本語教育概論 I	講義	2	後期		2	
		日本語学 I	講義	2	後期		2	
		日本語教育概論 II	講義	3	前期		2	
日本語学 II		講義	3	前期		2		
言語学		講義	3	前期		2		
社会言語学		講義	3	前期		2		
小計(6科目)	6	—	—		12			
合計(28科目)		28	—	—	4	52		

(第21条関係)
別表第1 次世代教育学部教育経営学科 教育課程

(次世代教育学部 教育経営学科 [小学校教育専攻]) 【2023年度生以降対象】

科目区分	授業科目の名称	授業種別	配当		単位数		備考
			年次	学期	必修	選択	
会心の領域・域社	教育心理学B	講義	1	前期	2		
	発達心理学B	講義	2	後期		2	
	小計(2科目)	2	—	—	2	2	
教育経営・学級経営に関する領域	教育相談B	講義	2	後期		2	
	教育評価	講義	2	前期		2	
	教育社会学	講義	3	後期		2	
	学校経営と学校図書館	講義	4	前期		2	
	学校図書館メディアの構成	講義	4	前期		2	
	読書と豊かな人間性	講義	4	前期		2	
	学習指導と学校図書館	講義	4	後期		2	
	情報メディアの活用	講義	4	後期		2	
	小計(8科目)	8	—	—	0	16	
コア科目	音楽表現指導理論・実習Ⅰ(基礎)	実習	1	通年		2	
	教育実践学Ⅰ(青年教師塾)	演習	1	後期集中		2	
	音楽表現指導理論・実習Ⅱ(応用)	実習	2	通年		2	
	算数科教育法	講義	2	前期		2	
	社会科教育法	講義	2	前期		2	
	国語科教育法	講義	2	後期		2	
	理科教育法	講義	2	後期		2	
	理科実験の指導法Ⅰ(理科教師塾)	演習	2	後期		2	
	教育実践学Ⅱ(応用)(青年教師塾)	演習	2	後期集中		2	
	教育実践学Ⅱ(基礎)(青年教師塾)	演習	2	前期集中		2	
	音楽表現指導理論・実習Ⅲ(発展)	実習	3	通年		2	
	生活科教育法	講義	3	前期		2	
	家庭科教育法	講義	3	前期		2	
	体育科教育法	講義	3	前期		2	
	小学校英語科教育法	講義	3	前期		2	
	理科実験の指導法Ⅱ(理科教師塾)	演習	3	前期		2	
	音楽科教育法	講義	3	後期		2	
	図画工作科教育法	講義	3	後期		2	
	体育実技の指導法	演習	3	後期		2	
	音楽表現指導理論・実習Ⅳ(実践)	実習	4	通年		2	
小計(20科目)	20	—	—	0	40		
日本語教育実践の領域	日本語教授法Ⅰ	講義	3	後期		2	
	日本語評価法	講義	3	後期		2	
	日本語教授法Ⅱ	講義	4	前期		2	
	小計(3科目)	3	—	—	0	6	

(第21条関係)
別表第1 次世代教育学部教育経営学科 教育課程

(次世代教育学部 教育経営学科 [小学校教育専攻]) 【2023年度生以降対象】

科目区分	授業科目の名称	授業種別	配当		単位数		備考
			年次	学期	必修	選択	
特別支援教育に関する領域	特別支援教育	講義	1	後期		2	
	特別支援教育総論	講義	1	後期		2	
	知的障害児の心理・生理・病理	講義	2	前期		2	
	肢体不自由児の心理・生理・病理	講義	2	後期		2	
	病弱児の心理・生理・病理	講義	2	前期		2	
	知的障害児教育Ⅰ	講義	2	前期		2	
	知的障害児教育Ⅱ	講義	2	後期		2	
	肢体不自由児教育	講義	3	後期		2	
	病弱児教育	講義	3	後期		2	
	自立活動実践論	講義	3	後期		2	
	障害児教育相談と心理アセスメント	講義	3	前期		2	
	発達障害児教育総論	講義	2	後期		2	
	重複障害児教育総論	講義	3	前期		2	
	視覚障害児教育論	講義	4	前期		2	
	聴覚障害児教育論	講義	4	前期		2	
小計(15科目)	15	—	—	0	30		
コア科目 教育実践	学校支援ボランティア	実習	2・3・4	集中		1	
	介護等体験実習	実習	2・3・4	集中		1	
	教育実習事前・事後指導(小学校)	実習	3・4	集中		1	
	教育実習Ⅰ(小学校)	実習	3・4	集中		2	
	教育実習Ⅱ(小学校)	実習	3・4	集中		2	
	特別支援教育実習事前・事後指導	実習	3・4	集中		1	
	特別支援教育実習	実習	3・4	集中		2	
	日本語教育演習Ⅰ	演習	4	前期		2	
	日本語教育実習Ⅰ	実習	4	前期		1	
	日本語教育演習Ⅱ	演習	4	後期		2	
	日本語教育実習Ⅱ	実習	4	後期		1	
	教職実践演習(小学校)	演習	4	後期		2	
小計(12科目)	12	—	—	0	18		
インターンシップ	海外研修	実習	1・2・3	集中		1	
	国際交流実習Ⅰ(基礎)	実習	1・2・3	前期		1	
	国際交流実習Ⅱ(応用)	実習	1・2・3	後期集中		1	
	キャンプ実習	実習	2	集中		1	
	インターンシップ	実習	3	集中		2	
小計(5科目)	5	—	—	0	6		
ゼミナール	ゼミナールⅠ(基礎)	演習	3	通年	4		
	ゼミナールⅡ(応用)	演習	4	通年	4		
	卒業研究	演習	4	通年		4	
小計(3科目)	3	—	—	8	4		
合計(53科目)		53	—	—	10	92	
その他科目	他学部・他学科科目						
	他大学科目						
合計(133科目)		133	—	—	36	222	

卒業要件及び履修方法				
科目区分	単位数	必修	選択	
教養科目	30	22	8	教養科目より必修科目26単位を含む30単位以上、専門基礎科目より必修科目4単位を含む30単位以上、コア科目より必修科目10単位を含む40単位以上を修得し、合計124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:年間40単位)
専門基礎科目	30	4	26	
コア科目	40	10	30	
全体	24	0	24	
合計	124	36	88	

(第21条関係)
別表第1 次世代教育学部教育経営学科 教育課程

(次世代教育学部 教育経営学科 [中高英語教育専攻]) 【2021年度生以降対象】

科目区分	授業科目の名称	授業種別	配当		単位数		備考	
			年次	学期	必修	選択		
教養科目	言語・文化領域	日本の伝統文化	講義	1	前期		2	
		英会話	演習	1	前期	2		
		英語 I	演習	1	後期		2	
		英語 II	演習	2	前期		2	
		多文化共生のための異文化理解	講義	2	後期		2	
		英語 III	演習	3	前期		2	
		英語 IV	演習	3	後期		2	
		小計(7科目)	7	—	—	2	12	
	汎用的技能領域	IPUジェネリックスキルズ I (非認知能力)	講義	1	前期	2		
		TOEIC I	講義	1	前期		2	
		TOEIC III	講義	1	前期		2	
		コンピューターテラシー I	演習	1	前期	2		
		体育実技	実技	1	前期	1		
		体育理論	講義	1	後期	1		
		IPUジェネリックスキルズ II (アカデミック)	講義	1	後期	2		
		TOEIC II	講義	1	後期		2	
		TOEIC IV	講義	1	後期		2	
		コンピューターテラシー II	演習	1	後期	2		
		コンピューターテラシー III	演習	2	前期		2	
		IPUジェネリックスキルズ III (シチズンシップ)	講義	2	後期		2	
		統計学	講義	3	前期		2	
		コンピューターテラシー IV	演習	3	前期		2	
	小計(14科目)	14	—	—	10	16		
	人間・表現領域	表現活動による人間力養成 I	演習	1	通年		2	
		心理学	講義	1	前期		2	
		倫理学(宗教を含む)	講義	1	後期		2	
		表現活動による人間力養成 II	演習	2	通年		2	
		人権と教育	講義	2	前期		2	
		ライフコーチング	演習	2	後期		2	
		表現活動による人間力養成 III	演習	3	通年		2	
		コミュニケーションの心理学	講義	3	前期		2	
		表現活動による人間力養成 IV	演習	4	通年		2	
		人間と法	講義	4	前期		2	
	小計(10科目)	10	—	—	0	20		
	数理領域	数学基礎	講義	2	前期		2	
		数学	講義	2	後期		2	
		自然科学基礎	講義	3	前期		2	
		食育論	講義	3	前期		2	
		生化学	講義	3	前期		2	
		小計(5科目)	5	—	—	0	10	
	社会領域	政治・経済学	講義	1	後期		2	
		日本国憲法	講義	1	後期		2	
経営学		講義	2	前期		2		
労働法規		講義	3	前期		2		
近現代史		講義	3	後期		2		
地理・地政学		講義	3	後期		2		
労働安全衛生法		講義	3	後期		2		
小計(7科目)		7	—	—	0	14		
キャリア領域	フレッシュマンセミナー	講義	1	通年	2			
	基礎ゼミナール I	演習	1	通年	2			
	ボランティア活動 I	演習	1	集中		2		
	キャリアディベロップメント	講義	2	通年	2			
	基礎ゼミナール II	演習	2	通年	2			
	ボランティア活動 II	演習	2	集中		2		
	キャリアデザイン I	講義	3	前期	1			
	キャリアデザイン II	講義	3	後期	1			
	キャリアサポート	講義	4	前期		2		
小計(9科目)	9	—	—	10	6			
合計(52科目)		52	—	—	22	78		

(第21条関係)
別表第1 次世代教育学部教育経営学科 教育課程

(次世代教育学部 教育経営学科 [中高英語教育専攻]) 【2021年度生以降対象】

科目区分	授業科目の名称	授業種別	配当		単位数		備考	
			年次	学期	必修	選択		
専門基礎科目	次世代教育学総論	講義	2	前期	2			
	小計(1科目)	1	—	—	2	0		
	教育・指導に関する領域	教職入門C	講義	1	前期		2	
	教育の思想と原理C	講義	1	後期	2			
	総合的な学習の時間の指導法(中等)	講義	2	後期		2		
	特別活動の指導法(中等)	講義	2	後期		2		
	生徒指導・進路指導論(中等)	講義	2	後期		2		
	教育課程論(中等)	講義	3	前期		2		
	教育方法・技術論(中等)	講義	3	前期		2		
	道徳教育の理論及び指導法(中等)	講義	3	後期		2		
	特別支援教育論C	講義	3	後期		2		
	小計(9科目)	9	—	—	2	16		
	教科等に関する領域	言葉の理解	講義	1	前期		2	
	英語の理解	講義	1	前期		2		
	数の理解	講義	1	後期		2		
	自然の理解	講義	1	後期		2		
	社会の理解	講義	1	後期		2		
	音楽の理解	演習	2	前期		2		
	美術の理解	演習	2	前期		2		
	衣・食・住の理解	講義	2	後期		2		
	生活の理解	演習	2	後期		2		
	運動・健康の理解	演習	2	後期		2		
	小計(10科目)	10	—	—	0	20		
	英語・国際性の領域	英語文学	講義	1	前期		2	
	異文化コミュニケーション論	講義	1	前期		2		
	実践英文法(基礎)	講義	1	前期		2		
	英語文学史	講義	1	後期		2		
	実践英文法(応用)	講義	1	後期		2		
	リーディング・スキル(基礎)	講義	1	後期		2		
	時事英語	演習	1	後期		2		
	英語学概論	講義	2	前期		2		
	比較文化論	演習	2	前期		2		
	英語文法	講義	2	前期		2		
	リーディング・スキル(応用)	講義	2	後期		2		
	上級英語文法	講義	3	前期		2		
	スピーキング・スキル	講義	3	前期		2		
	ライティング・スキル	講義	3	後期		2		
	リーディング・スキル(実践)	講義	3	後期		2		
	上級オーラルコミュニケーション	演習	3	後期		2		
	小計(16科目)	16	—	—	0	32		
	日本語教育に関する領域	日本語教育概論 I	講義	2	後期		2	
	日本語学 I	講義	2	後期		2		
日本語教育概論 II	講義	3	前期		2	日本語教育概論 I を習得していること		
日本語学 II	講義	3	前期		2	日本語教育概論 I を習得していること		
言語学	講義	3	前期		2	日本語教育概論 I を習得していること		
社会言語学	講義	3	前期		2	日本語教育概論 I を習得していること		
小計(6科目)	6	—	—	0	12			
合計(42科目)	42	—	—	4	80			

(第21条関係)
別表第1 次世代教育学部教育経営学科 教育課程

(次世代教育学部 教育経営学科 [中高英語教育専攻]) 【2021年度生以降対象】

科目区分	授業科目の名称	授業種別	配当		単位数		備考	
			年次	学期	必修	選択		
コア科目	心理・社会の領域	教育心理学C	講義	1	前期	2		
		発達心理学C	講義	2	後期		2	
		小計(2科目)	2	—	—	2	2	
	教育経営・学級経営に関する領域	教育評価	講義	2	前期		2	
		教育相談C	講義	2	後期		2	
		教育社会学	講義	3	後期		2	
		学校経営と学校図書館	講義	4	前期		2	
		学校図書館メディアの構成	講義	4	前期		2	
		読書と豊かな人間性	講義	4	前期		2	
		学習指導と学校図書館	講義	4	後期		2	
		情報メディアの活用	講義	4	後期		2	
		小計(8科目)	8	—	—		16	
	英語教育実践の領域	音楽表現指導理論・実習Ⅰ(基礎)	実習	1	通年		2	
		音楽表現指導理論・実習Ⅱ(応用)	実習	2	通年		2	
		英語科教育法Ⅰ(基礎)	講義	2	前期		2	
		英語科教育法Ⅱ(応用)	講義	2	後期		2	
		映画とテレビの英語	講義	2	後期		2	
		英語のリズムとイントネーション	講義	2	後期		2	
		音楽表現指導理論・実習Ⅲ(発展)	実習	3	通年		2	
		英語科教育法Ⅲ(発展)	講義	3	前期		2	
英語科教育法Ⅳ(実践)		講義	3	後期		2		
英語教授法特論		講義	3	後期		2		
音楽表現指導理論・実習Ⅳ(実践)		実習	4	通年		2		
小計(11科目)		11	—	—		22		
日本語教育実践の領域	日本語教授法Ⅰ	講義	3	後期		2		
	日本語評価法	講義	3	後期		2		
	日本語教授法	講義	4	前期		2	日本語教授法Ⅰを習得していること	
	小計(3科目)	3	—	—		6		

(第21条関係)
別表第1 次世代教育学部教育経営学科 教育課程

(次世代教育学部 教育経営学科 [中高英語教育専攻]) 【2021年度生以降対象】

科目区分	授業科目の名称	授業種別	配当		単位数		備考	
			年次	学期	必修	選択		
コア科目	教育実践	学校支援ボランティア	2・3・4	集中		1		
		介護等体験実習	2・3・4	集中		1		
		教育実習事前・事後指導(英語)	3・4	集中		1		
		教育実習Ⅰ(中学校・高等学校)	3・4	集中		2		
		教育実習Ⅱ(中学校)	3・4	集中		2		
		日本語教育演習Ⅰ	4	前期		2		
		日本語教育実習Ⅰ	4	前期		1		
		日本語教育演習Ⅱ	4	後期		2		
		日本語教育実習Ⅱ	4	後期		1		
		教職実践演習(中学校・高等学校)	4	後期		2		
	小計(10科目)	10	—	—	0	15		
	インターンシップ	海外研修	実習	1・2・3	集中		1	
		国際交流実習Ⅰ(基礎)	実習	1・2・3	前期		1	
		国際交流実習Ⅱ(応用)	実習	1・2・3	後期集中		1	
		キャンプ実習	実習	2	集中		1	
		スポーツイベント運営実習	実習	3	後期		1	
		インターンシップ	実習	3	集中		2	
		小計(6科目)	6	—	—	0	7	
	ゼミナール	ゼミナールⅠ(基礎)	演習	3	通年	4		
		ゼミナールⅡ(応用)	演習	4	通年	4		
		卒業研究	演習	4	通年		4	
小計(3科目)		3	—	—	8	4		
合計(43科目)		43	—	—	10	72		
その他科目	他学部・他学科科目							
	他大学科目							
合計(137科目)		137	—	—	36	230		

卒業要件及び履修方法				
科目区分	単位数	必修	選択	
教養科目	30	22	8	教養科目より必修科目26単位を含む30単位以上、専門基礎科目より必修科目4単位を含む42単位以上、コア科目より必修科目10単位を含む28単位以上を修得し、合計124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:年間40単位)
専門基礎科目	42	4	38	
コア科目	28	10	18	
全体	24	0	24	
合計	124	36	88	

(第21条関係)
別表第1 次世代教育学部教育経営学科〔通信教育課程〕教育課程

【2023年度以降1年次入学生対象】
【2023年度以降2年次編入学生対象】
【2023年度以降3年次編入学生対象】

(次世代教育学部 教育経営学科 通信教育課程〔初等教育専攻〕)

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	幼稚園教諭 コース単位数		小学校教諭 コース単位数		備考
			必修	選択	必修	選択	
教養科目	英語	1	2		2		面接(メディア)
	英会話	1	2		2		面接(メディア)
	体育理論	1	1		1		印刷教材
	体育実技	1	1		1		面接
	情報リテラシー I (基礎)	1	2		2		面接
	心理学	1		4		4	印刷教材
	コミュニケーションの心理学	3		2		2	印刷教材
	日本国憲法	1		2		2	印刷教材
	生涯学習論	3		2		2	印刷教材
	生物学	3		2		2	印刷教材
	サプリメントと健康	1		2		2	印刷教材
	食育論	3		2		2	印刷教材
	地球環境と生活	3		2		2	印刷教材
	社会学	2		2		2	印刷教材
	人間と法	4		2		2	印刷教材
	人権と教育	2		2		2	印刷教材
	政治・経済学	2		2		2	印刷教材
	時事問題	1		2		2	印刷教材
	日本の伝統文化	1		2		2	印刷教材
	比較文化論	2		2		2	印刷教材
	数学基礎	2		2		2	印刷教材
	統計学基礎	2		2		2	印刷教材
	自然科学基礎	2		2		2	印刷教材
	教養科目合計(23科目)		8	38	8	38	
専門基礎科目	教育の思想と原理A(初等)	1	2		2		印刷教材
	教育心理学A(初等)	2	2		2		印刷教材
	発達心理学	1	2		2		印刷教材
	次世代教育学総論	3	2		2		印刷教材
	家庭・地域間コミュニケーション論	3	2		2		印刷教材
	次世代教育実践学総論	4	2		2		印刷教材・オムニバス
	言葉の理解	2		2		2	印刷教材
	数の理解	1		2		2	印刷教材
	生活の理解	2		2		2	印刷教材
	美術の理解	1		2		2	面接
	音楽の理解	1		2		2	面接
	運動・健康の理解	2		2		2	面接
	自然の理解	2		2		2	面接
	社会の理解	2		2		2	印刷教材
	衣・食・住の理解	1		2		2	印刷教材
	英語の理解	2		2		2	印刷教材
	時事英語	1		2		2	面接(メディア)
	英語文学	1		2		2	印刷教材
	英語文学史	1		2		2	印刷教材
	異文化コミュニケーション論	1		2		2	面接(メディア)
	国際関係論	2		2		2	印刷教材
	上級英語	3		2		2	印刷教材
	英語文法	2		2		2	印刷教材
	上級英語文法	3		2		2	印刷教材
	上級オーラルコミュニケーション I (発展)	3		2		2	面接(メディア)
	上級オーラルコミュニケーション II (実践)	4		2		2	面接(メディア)
	情報リテラシー II (応用)	1		2		2	面接
	専門基礎科目合計(27科目)		12	42	12	42	

(第21条関係)
別表第1 次世代教育学部教育経営学科〔通信教育課程〕教育課程

【2023年度以降1年次入学生対象】
【2023年度以降2年次編入学生対象】
【2023年度以降3年次編入学生対象】

(次世代教育学部 教育経営学科 通信教育課程〔初等教育専攻〕)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	幼稚園教諭 コース単位数		小学校教諭 コース単位数		備考
			必修	選択	必修	選択	
教育経営・学級経営 に関する理解	学級経営総論	2		2		2	印刷教材
	学級経営実践問題	2		2		2	印刷教材
	特別支援教育論(初等)	2		2		2	印刷教材
	学力と評価	2		2		2	印刷教材
	教育と社会	2		2		2	印刷教材
	教育経営学	2		2		2	印刷教材
	教育行政学	3		2		2	印刷教材
	教育法制論	3		2		2	印刷教材
	学校経営と学校図書館	4		2		2	印刷教材
	学校図書館メディアの構成	4		2		2	印刷教材
	学習指導と学校図書館	4		2		2	印刷教材
	読書と豊かな人間性	4		2		2	印刷教材
	情報メディアの活用	4		2		2	面接
	小計(13科目)			26		26	
こころ に関する理解	臨床心理学	1		2		2	印刷教材
	児童心理学	1		2		2	印刷教材
	認知心理学	2		2		2	印刷教材
	学校心理学	3		2		2	印刷教材
	家族心理学	3		2		2	印刷教材
	カウンセリング論	3		2		2	印刷教材
	保育の心理学	2		2		2	印刷教材
	子育て論	2		2		2	印刷教材
		小計(8科目)			16		16
コア科目 保育・幼児教育 に関する理解	子どもと健康	2	2			2	印刷教材・面接
	子どもと人間関係	2	2			2	印刷教材・面接
	子どもと環境	2	2			2	印刷教材・面接
	子どもと言葉	2	2			2	印刷教材・面接・オムニバス
	表現A(造形表現)	2	2			2	面接
	表現B(音楽表現)	2	2			2	面接
	表現C(身体表現)	2	2			2	面接
	子ども子育て教育相談	2	2			2	印刷教材
		小計(8科目)		16			16
教育課程及び指導法 に関する理解	教職入門	1	2		2		印刷教材
	国語科教育法	3		2	2		印刷教材
	算数科教育法	2		2	2		印刷教材
	理科教育法	3		2	2		面接
	社会科教育法	2		2		2	印刷教材
	家庭科教育法	3		2		2	面接
	生活科教育法	3		2		2	印刷教材
	図画工作科教育法	2		2		2	面接
	音楽科教育法	2		2		2	面接
	体育科教育法	3		2		2	面接
	小学校英語科教育法	3		2		2	面接
	教育課程論A(初等)	3	2		2		印刷教材
	教育方法・技術論A(初等)	3	2		2		印刷教材・面接・オムニバス
	道德教育の理論及び指導法A(初等)	3		2	2		印刷教材
	特別活動の指導法A(初等)	2		2	2		印刷教材
	生徒指導・進路指導論A(初等)	2		2	2		印刷教材
	教育相談の理解	3		2	2		印刷教材・面接
	総合的な学習の時間の指導法(初等)	2		2	2		印刷教材
	小学校外国語活動の指導法	3		2		2	面接(メディア)
	小計(19科目)		6	32	22	16	

(第21条関係)
別表第1 次世代教育学部教育経営学科〔通信教育課程〕教育課程

【2023年度以降1年次入学生対象】
【2023年度以降2年次編入学生対象】
【2023年度以降3年次編入学生対象】

(次世代教育学部 教育経営学科 通信教育課程〔初等教育専攻〕)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	幼稚園教諭 コース単位数		小学校教諭 コース単位数		備考
			必修	選択	必修	選択	
コア科目	特別支援教育	1		2		2	印刷教材
	特別支援教育総論	1		2		2	印刷教材
	知的障害児の心理・生理・病理	2		2		2	印刷教材
	肢体不自由児の心理・生理・病理	2		2		2	印刷教材
	病弱児の心理・生理・病理	2		2		2	印刷教材
	知的障害児教育Ⅰ	2		2		2	印刷教材
	知的障害児教育Ⅱ	2		2		2	印刷教材
	肢体不自由児教育	3		2		2	印刷教材
	病弱児教育	3		2		2	印刷教材
	自立活動実践論	3		2		2	印刷教材
	障害児教育相談と心理アセスメント	3		2		2	印刷教材
	発達障害児教育総論	2		2		2	印刷教材
	重複障害児教育総論	3		2		2	印刷教材
	視覚障害児教育論	4		2		2	印刷教材
	聴覚障害児教育論	4		2		2	印刷教材
	小計(15科目)			30		30	
教育実践	介護等体験実習	3・4		1		1	面接
	教育実習事前・事後指導(幼稚園・小学校)	3・4		1		1	面接
	教育実習Ⅰ(幼稚園・小学校)	3・4		2		2	面接
	教育実習Ⅱ(幼稚園・小学校)	3・4		2		2	面接
	特別支援教育実習事前・事後指導	3・4		1		1	面接
	特別支援教育実習	3・4		2		2	面接
	教職実践演習(幼稚園・小学校)	4		2		2	面接
	小計(7科目)			6		6	
ゼミナール	ゼミナールⅠ(基礎)	3		4		4	面接
	ゼミナールⅡ(応用)	4		4		4	面接
	卒業研究	4		4		4	面接
	小計(3科目)			12		12	
	コア科目合計(58科目)		22	92	22	92	
その他科目	他学部・他学科・他専攻科目						
	他大学科目						
	総合計(108科目)		42	172	42	172	

卒業要件及び履修方法

幼稚園教諭コースか小学校教諭コースを選択のうえ、教養科目より必修科目を含む30単位以上、専門基礎科目から必修科目を含む30単位以上、コア科目から必修科目を含む40単位以上を修得し、合計124単位以上修得することを卒業要件とする。
【履修科目の登録の上限：年間48単位(半期24単位)】

(幼稚園教諭免許状の取得特例科目)

科目区分	授業科目の名称	幼稚園教諭 免許状単位数		備考
		必修	選択	
幼 取 稚 得 園 特 教 例 諭 科 免 目 許 状	教職入門	2		印刷教材
	教育法制論	2		印刷教材
	教育課程特論	1		印刷教材
	教育方法・技術特論(初等)	2		印刷教材
	幼児理解特論	1		印刷教材
	小計(8科目)	8	0	

※「教職入門」「教育法制論」以外の上記科目については、幼稚園教諭免許状取得特例を用いて取得を希望する科目等履修生のみ履修・修得ができるものとする。

(第21条関係)
別表第1 次世代教育学部教育経営学科〔通信教育課程〕教育課程

【2019年度以降1年次入学生対象】
【2019年度以降2年次編入学生対象】
【2019年度以降3年次編入学生対象】

(次世代教育学部 教育経営学科 通信教育課程〔中高英語教育専攻〕)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		備考
			必修	選択	
教養科目	英語	1	2		面接(メディア)
	英会話	1	2		面接(メディア)
	体育理論	1	1		印刷教材/2013年度から
	体育実技	1	1		面接/2013年度から
	情報リテラシー I (基礎)	1	2		面接
	小計(5科目)	—	8		
	心理学	1		4	印刷教材
	コミュニケーションの心理学	3		2	印刷教材
	日本国憲法	1		2	印刷教材
	生涯学習論	3		2	印刷教材
	生物学	1		2	印刷教材
	サプリメントと健康	1		2	印刷教材
	食育論	3		2	印刷教材
	地球環境と生活	3		2	印刷教材
	社会学	2		2	印刷教材
	人間と法	4		2	印刷教材
	人権と教育	2		2	印刷教材
	政治・経済学	2		2	印刷教材
	時事問題	1		2	印刷教材
	日本の伝統文化	1		2	印刷教材
比較文化論	2		2	印刷教材	
数学基礎	2		2	印刷教材	
統計学基礎	2		2	印刷教材	
自然科学基礎	2		2	印刷教材	
小計(18科目)	—		38		
専門基礎科目	教育の思想と原理B(中等)	1	2		印刷教材
	教育心理学B(中等)	2	2		印刷教材
	発達心理学	1	2		印刷教材
	次世代教育学総論	3	2		印刷教材
	家庭・地域間コミュニケーション論	3	2		印刷教材
	次世代教育実践学総論	4	2		印刷教材・オムニバス
	小計(6科目)	—	12		
	言葉の理解	2		2	印刷教材
	数の理解	1		2	印刷教材
	自然の理解	2		2	面接
	社会の理解	2		2	印刷教材
	衣・食・住の理解	1		2	印刷教材
	生活の理解	2		2	印刷教材
	美術の理解	1		2	面接
	音楽の理解	1		2	面接
	運動・健康の理解	2		2	面接
	英語の理解	2		2	印刷教材
	時事英語	1		2	面接(メディア)
	英語文学	1		2	印刷教材
	英語文学史	1		2	印刷教材
	異文化コミュニケーション論	1		2	面接(メディア)
	国際関係論	2		2	印刷教材
	上級英語	3		2	印刷教材
	英語文法	2		2	印刷教材
	上級英語文法	3		2	印刷教材
	上級オーラルコミュニケーション I (発展)	3		2	面接(メディア)
	上級オーラルコミュニケーション II (実践)	4		2	面接(メディア)
情報リテラシー II (応用)	1		2	面接	
小計(21科目)	—		42		

(第21条関係)
別表第1 次世代教育学部教育経営学科〔通信教育課程〕教育課程

【2019年度以降1年次入学生対象】
【2019年度以降2年次編入学生対象】
【2019年度以降3年次編入学生対象】

(次世代教育学部 教育経営学科 通信教育課程〔中高英語教育専攻〕)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		備考
			必修	選択	
コア科目	学級経営総論	2		2	印刷教材
	学級経営実践問題	2		2	印刷教材
	特別支援教育論(中等)	2		2	印刷教材
	学力と評価	2		2	印刷教材
	教育と社会	2		2	印刷教材
	教育経営学	2		2	印刷教材
	教育行政学	3		2	印刷教材
	教育法制論	3		2	印刷教材
	学校経営と学校図書館	4		2	印刷教材
	学校図書館メディアの構成	4		2	印刷教材
	学習指導と学校図書館	4		2	印刷教材
	読書と豊かな人間性	4		2	印刷教材
	情報メディアの活用	4		2	面接
	小計(13科目)	—		26	
	こころに関する理解	臨床心理学	1		2
	児童心理学	1		2	印刷教材
	認知心理学	2		2	印刷教材
	学校心理学	3		2	印刷教材
	家族心理学	3		2	印刷教材
	カウンセリング論	3		2	印刷教材
	小計(6科目)	—		12	
英語教育実践の理解	映画とテレビの英語	2		2	面接(メディア)
	英語のリズムとイントネーション	2		2	面接(メディア)
	英語思考法	3		2	面接(メディア)
	英語教授法特論Ⅰ(発展)	3		2	面接(メディア)
	英語教授法特論Ⅱ(実践)	4		2	面接(メディア)
	英語教材開発	3		2	面接(メディア)
	小計(6科目)	—		12	
教育課程及び指導法に関する理解	教職入門	1		2	印刷教材
	教育課程論B(中等)	3		2	印刷教材
	教育方法・技術論B(中等)	3		2	印刷教材
	道德教育の理論及び指導法B(中等)	3		2	印刷教材
	特別活動の指導法B(中等)	2		2	印刷教材
	生徒指導・進路指導論B(中等)	2		2	印刷教材
	教育相談の理解	3		2	印刷教材
	総合的な学習の時間の指導法(中等)	3		2	印刷教材
	英語科教育法Ⅰ(基礎)	2		2	印刷教材
	英語科教育法Ⅱ(応用)	2		2	面接
	英語科教育法Ⅲ(発展)	3		2	印刷教材
	英語科教育法Ⅳ(実践)	3		2	印刷教材
	小学校外国語活動の指導法	3		2	面接(メディア)
	小計(12科目)	—		26	

(第21条関係)

別表第1 次世代教育学部教育経営学科〔通信教育課程〕教育課程

【2019年度以降1年次入学生対象】

【2019年度以降2年次編入学生対象】

【2019年度以降3年次編入学生対象】

(次世代教育学部 教育経営学科 通信教育課程〔中高英語教育専攻〕)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		備考	
			必修	選択		
コア科目	介護等体験実習	3・4		1	面接	
	教育実習事前・事後指導(英語)	3・4		1	面接	
	教育実習Ⅰ(中学校・高等学校)	3・4		2	面接	
	教育実習Ⅱ(中学校)	3・4		2	面接	
	教職実践演習(中学校・高等学校)	4		2	面接	
	小計(5科目)	—		8		
	ゼミナール	ゼミナールⅠ(基礎)	3		4	面接
		ゼミナールⅡ(応用)	4		4	面接
		卒業研究	4		4	面接
		小計(3科目)	—		12	
その他科目	他学部・他学科・他専攻科目 他大学科目					
合計(95科目)		—	20	176		

卒業要件及び履修方法

教養科目より必修科目を含む30単位以上、専門基礎科目から必修科目を含む30単位以上、コア科目から40単位以上を修得し、合計124単位以上修得することを卒業要件とする。
【履修科目の登録の上限:年間48単位(半期24単位)】

(第21条関係)
別表第1 次世代教育学部教育経営学科〔通信教育課程〕教育課程

【2020年度以降1年次入学生対象】
【2020年度以降2年次編入学生対象】
【2020年度以降3年次編入学生対象】

(次世代教育学部 教育経営学科 通信教育課程〔中高数学教育専攻〕)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		備考
			必修	選択	
教養科目	英語	1	2		面接(メディア)
	英会話	1	2		面接(メディア)
	体育理論	1	1		印刷教材
	体育実技	1	1		面接
	情報リテラシー I (基礎)	1	2		面接
	小計(5科目)		8		
	心理学	1		4	印刷教材
	コミュニケーションの心理学	3		2	印刷教材
	日本国憲法	1		2	印刷教材
	生涯学習論	3		2	印刷教材
	生物学	1		2	印刷教材
	サプリメントと健康	1		2	印刷教材
	食育論	3		2	印刷教材
	地球環境と生活	3		2	印刷教材
	社会学	2		2	印刷教材
	人間と法	4		2	印刷教材
	人権と教育	2		2	印刷教材
	政治・経済学	2		2	印刷教材
	時事問題	1		2	印刷教材
	日本の伝統文化	1		2	印刷教材
	比較文化論	2		2	印刷教材
	数学基礎	2		2	印刷教材
	統計学基礎	2		2	印刷教材
	自然科学基礎	2		2	印刷教材
小計(18科目)			38		
専門基礎科目	教育の思想と原理B(中等)	1	2		印刷教材
	教育心理学B(中等)	2	2		印刷教材
	発達心理学	1	2		印刷教材
	次世代教育学総論	3	2		印刷教材
	家庭・地域間コミュニケーション論	3	2		印刷教材
	次世代教育実践学総論	4	2		印刷教材・オムニバス
	数の理解	1		2	印刷教材
	数学基礎 I	1		2	印刷教材
	数学基礎 II	1		2	印刷教材
	代数学 I	1	2		印刷教材
	集合・位相 I	1		2	印刷教材
	幾何学 I	1	2		印刷教材
	解析学 I	1		2	印刷教材
	確率論・統計学入門	1		2	印刷教材
	確率論	2		2	印刷教材
	統計学	3		2	印刷教材
	コンピュータ演習 I	2		2	面接
	情報数学 I	1		2	印刷教材
	小計(18科目)	18	16	20	
	言葉の理解	2		2	印刷教材
	自然の理解	2		2	面接
	社会の理解	2		2	印刷教材
	衣・食・住の理解	1		2	印刷教材
	生活の理解	2		2	印刷教材
	美術の理解	1		2	面接
	音楽の理解	1		2	面接
	運動・健康の理解	2		2	面接
	英語の理解	2		2	面接
	時事英語	1		2	面接(メディア)
	英語文学	1		2	印刷教材
	英語文学史	1		2	印刷教材
	異文化コミュニケーション論	1		2	面接(メディア)
	国際関係論	2		2	印刷教材
	上級英語	3		2	印刷教材
英語文法	2		2	印刷教材	
上級英語文法	3		2	印刷教材	
上級オーラルコミュニケーション I (発展)	3		2	面接(メディア)	
上級オーラルコミュニケーション II (実践)	4		2	面接(メディア)	
情報リテラシー II (応用)	1		2	面接	
小計(20科目)			40		

(第21条関係)

別表第1 次世代教育学部教育経営学科〔通信教育課程〕教育課程

【2020年度以降1年次入学生対象】

【2020年度以降2年次編入学生対象】

【2020年度以降3年次編入学生対象】

(次世代教育学部 教育経営学科 通信教育課程〔中高数学教育専攻〕)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		備考	
			必修	選択		
コア科目	学級経営総論	2		2	印刷教材	
	学級経営実践問題	2		2	印刷教材	
	特別支援教育論(中等)	2		2	印刷教材	
	学力と評価	2		2	印刷教材	
	教育と社会	2		2	印刷教材	
	教育経営学	2		2	印刷教材	
	教育行政学	3		2	印刷教材	
	教育法制論	3		2	印刷教材	
	学校経営と学校図書館	4		2	印刷教材	
	学校図書館メディアの構成	4		2	印刷教材	
	学習指導と学校図書館	4		2	印刷教材	
	読書と豊かな人間性	4		2	印刷教材	
	情報メディアの活用	4		2	面接	
	小計(13科目)				26	
	こころに関する理解	臨床心理学	1		2	印刷教材
		児童心理学	1		2	印刷教材
		認知心理学	2		2	印刷教材
		学校心理学	3		2	印刷教材
		家族心理学	3		2	印刷教材
		カウンセリング論	3		2	印刷教材
	小計(6科目)				12	
	教育実践の理解	映画とテレビの英語	2		2	面接(メディア)
		英語のリズムとイントネーション	2		2	面接(メディア)
		英語思考法	3		2	面接(メディア)
		代数学Ⅱ	2		2	印刷教材
		代数学Ⅲ	3		2	印刷教材
		集合・位相Ⅱ	2		2	印刷教材
		幾何学Ⅱ	2		2	印刷教材
		幾何学Ⅲ	3		2	印刷教材
		解析学Ⅱ	2		2	印刷教材
		解析学Ⅲ	3		2	印刷教材
		コンピュータ演習Ⅱ	3		2	面接
		情報数学Ⅱ	2		2	印刷教材
	小計(12科目)		12	0	24	
	教育課程及び指導法に関する理解	教職入門	1	2		印刷教材
		教育課程論B(中等)	3	2		印刷教材
		教育方法・技術論B(中等)	3	2		印刷教材・面接・オムニバス
		道德教育の理論及び指導法B(中等)	3		2	印刷教材
		特別活動の指導法B(中等)	2	2		印刷教材
		生徒指導・進路指導論B(中等)	2	2		印刷教材
		教育相談の理解	3	2		印刷教材・面接
		総合的な学習の時間の指導法(中等)	3	2		印刷教材
		算数科教育法	2		2	印刷教材
	数学科教育法A	2	2		印刷教材	
	数学科教育法B	2	2		印刷教材	
	数学科教育法C	3	2		面接	
	数学科教育法D	3		2	印刷教材	
小計(13科目)			20	6		

(第21条関係)

別表第1 次世代教育学部教育経営学科〔通信教育課程〕教育課程

【2020年度以降1年次入学生対象】

【2020年度以降2年次編入学生対象】

【2020年度以降3年次編入学生対象】

(次世代教育学部 教育経営学科 通信教育課程 [中高数学教育専攻])

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		備考	
			必修	選択		
コア科目	介護等体験実習	3・4		1	面接	
	教育実習事前・事後指導(数学)	3・4		1	面接	
	教育実習Ⅰ(中学校・高等学校)	3・4		2	面接	
	教育実習Ⅱ(中学校)	3・4		2	面接	
	教職実践演習(中学校・高等学校)	4		2	面接	
	小計(5科目)			8		
	ゼミナール	ゼミナールⅠ(基礎)	3		4	面接
		ゼミナールⅡ(応用)	4		4	面接
		卒業研究	4		4	面接
		小計(3科目)			12	
その他科目	他学部・他学科・他専攻科目 他大学科目					
合計(113科目)			44	186		

卒業要件及び履修方法

教養科目より必修科目を含む22単位以上、専門基礎科目から必修科目を含む36単位以上、コア科目から42単位以上を修得し、合計124単位以上修得することを卒業要件とする。
【履修科目の登録の上限：年間48単位(半期24単位)】

(第21条関係)

別表第1 次世代教育学部教育経営学科〔通信教育課程〕教育課程

【2021年度以降1年次入学生対象】

【2021年度以降2年次編入学生対象】

【2021年度以降3年次編入学生対象】

(次世代教育学部 教育経営学科 通信教育課程〔看護教育専攻〕)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		備考
			必修	選択	
教養科目	英語	1	2		面接(メディア)
	英会話	1	2		面接(メディア)
	体育理論	1	1		印刷教材
	体育実技	1	1		面接
	情報リテラシー I (基礎)	1	2		面接
	小計(5科目)	—	8		
	心理学	1		4	印刷教材
	コミュニケーションの心理学	3		2	印刷教材
	日本国憲法	1		2	印刷教材
	生涯学習論	3		2	印刷教材
	生物学	1		2	印刷教材
	サプリメントと健康	1		2	印刷教材
	食育論	3		2	印刷教材
	地球環境と生活	3		2	印刷教材
	社会学	2		2	印刷教材
	人間と法	4		2	印刷教材
	人権と教育	2		2	印刷教材
	政治・経済学	2		2	印刷教材
	時事問題	1		2	印刷教材
	日本の伝統文化	1		2	印刷教材
比較文化論	2		2	印刷教材	
数学基礎	2		2	印刷教材	
統計学基礎	2		2	印刷教材	
自然科学基礎	2		2	印刷教材	
小計(18科目)	—		38		

(第21条関係)
別表第1 次世代教育学部教育経営学科〔通信教育課程〕教育課程

【2021年度以降1年次入学生対象】
【2021年度以降2年次編入学生対象】

(次世代教育学部 教育経営学科 通信教育課程〔看護教育専攻〕)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		備考	
			必修	選択		
専門基礎科目	必修科目	教育の思想と原理B(中等)	1	2	印刷教材	
	教育心理学B(中等)	2	2	印刷教材		
	発達心理学	1	2	印刷教材		
	次世代教育学総論	3	2	印刷教材		
	家庭・地域間コミュニケーション論	3	2	印刷教材		
	次世代教育実践学総論	4	2	印刷教材・オムニバス		
	小計(6科目)	—	12			
	選択科目	言葉の理解	2		2	印刷教材
	数の理解	1		2	印刷教材	
	自然の理解	2		2	面接	
	社会の理解	2		2	印刷教材	
	衣・食・住の理解	1		2	印刷教材	
	生活の理解	2		2	印刷教材	
	美術の理解	1		2	面接	
	音楽の理解	1		2	面接	
	運動・健康の理解	2		2	面接	
	英語の理解	2		2	面接	
	時事英語	1		2	面接(メディア)	
	英語文学	1		2	印刷教材	
	英語文学史	1		2	印刷教材	
	異文化コミュニケーション論	1		2	面接(メディア)	
	国際関係論	2		2	印刷教材	
	上級英語	3		2	印刷教材	
	英語文法	2		2	印刷教材	
	上級英語文法	3		2	印刷教材	
	上級オーラルコミュニケーションⅠ(発展)	3		2	面接(メディア)	
	上級オーラルコミュニケーションⅡ(実践)	4		2	面接(メディア)	
情報リテラシーⅡ(応用)	1		2	面接		
看護論	3		2	印刷教材		
看護論演習	3		2	面接		
看護教育・制度論	3		2	印刷教材		
看護ICTの活用	3		2	面接		
小計(25科目)	—		50			

(第21条関係)

別表第1 次世代教育学部教育経営学科〔通信教育課程〕教育課程

【2021年度以降1年次入学生対象】

【2021年度以降2年次編入学生対象】

【2021年度以降3年次編入学生対象】

(次世代教育学部 教育経営学科 通信教育課程〔看護教育専攻〕)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		備考	
			必修	選択		
コア科目	学級経営総論	2		2	印刷教材	
	学級経営実践問題	2		2	印刷教材	
	特別支援教育論(中等)	2		2	印刷教材	
	学力と評価	2		2	印刷教材	
	教育と社会	2		2	印刷教材	
	教育経営学	2		2	印刷教材	
	教育行政学	3		2	印刷教材	
	教育法制論	3		2	印刷教材	
	学校経営と学校図書館	4		2	印刷教材	
	学校図書館メディアの構成	4		2	印刷教材	
	学習指導と学校図書館	4		2	印刷教材	
	読書と豊かな人間性	4		2	印刷教材	
	情報メディアの活用	4		2	面接	
	小計(13科目)	—			26	
	臨床心理学	1			2	印刷教材
	児童心理学	1			2	印刷教材
	認知心理学	2			2	印刷教材
	学校心理学	3			2	印刷教材
	家族心理学	3			2	印刷教材
	カウンセリング論	3			2	印刷教材
	小計(6科目)	—			12	
	看護教育課程論	4			3	印刷教材
	看護教育課程演習Ⅰ	4			2	面接
	看護教育課程演習Ⅱ	4			2	面接
	看護教育方法論Ⅰ	3			4	印刷教材
	看護教育方法論Ⅱ	3			2	印刷教材
	看護教育方法演習Ⅰ	3			2	面接
	看護教育方法演習Ⅱ	3			2	面接
	総合教育方法演習	3			2	面接(メディア)
	看護教育実習	4			2	面接
	専門領域別看護論演習Ⅰ	3			2	面接
	専門領域別看護論演習Ⅱ	3			2	面接
	看護教育評価論	4			2	印刷教材
看護教育評価演習	4			2	面接	
看護学校管理	4			2	印刷教材	
教育実習事前・事後指導(看護)	4			1	面接(メディア)	
小計(15科目)	—			32		

(第21条関係)

別表第1 次世代教育学部教育経営学科〔通信教育課程〕教育課程

【2021年度以降1年次入学生対象】

【2021年度以降2年次編入学生対象】

【2021年度以降3年次編入学生対象】

(次世代教育学部 教育経営学科 通信教育課程〔看護教育専攻〕)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数		備考
			必修	選択	
コア科目	教職入門	1		2	印刷教材
	国語科教育法	3		2	印刷教材
	算数科教育法	2		2	印刷教材
	理科教育法	3		2	面接
	社会科教育法	2		2	印刷教材
	家庭科教育法	3		2	面接
	生活科教育法	3		2	印刷教材
	図画工作科教育法	2		2	面接
	音楽科教育法	2		2	面接
	体育科教育法	3		2	面接
	教育課程論B(中等)	3		2	印刷教材
	教育方法・技術論B(中等)	3		2	印刷教材
	道德教育の理論及び指導法B(中等)	3		2	印刷教材
	特別活動の指導法B(中等)	2		2	印刷教材
	生徒指導・進路指導論B(中等)	2		2	印刷教材
	教育相談の理解	3		2	印刷教材
	総合的な学習の時間の指導法(中等)	3		2	印刷教材
	英語科教育法Ⅰ(基礎)	2		2	印刷教材
	英語科教育法Ⅱ(応用)	2		2	面接
	英語科教育法Ⅲ(発展)	3		2	印刷教材
	英語科教育法Ⅳ(実践)	3		2	印刷教材
	小学校外国語活動の指導法	3		2	面接(メディア)
小計(22科目)	—		44		
ゼミナール	ゼミナールⅠ(基礎)	3		4	面接
	ゼミナールⅡ(応用)	4		4	面接
	卒業研究	4		4	面接
	小計(3科目)	—		12	
その他科目	他学部・他学科・他専攻科目 他大学科目				
合計(113科目)		—	20	214	

卒業要件及び履修方法

教養科目より必修科目を含む30単位以上、専門基礎科目から必修科目を含む30単位以上、コア科目から40単位以上を修得し、合計124単位以上修得することを卒業要件とする。
【履修科目の登録の上限:年間48単位(半期24単位)】

(第21条関係)
別表第1 体育学部健康科学科 教育課程

(体育学部 健康科学科)【2021年度生以降対象】

科目区分	授業科目の名称	授業種別	配当		単位数		備考	
			年次	学期	必修	選択		
教養科目	日本の伝統文化	講義	1	前期		2	※2	
	英会話	演習	1	前期	2		※1	
	英語Ⅰ	演習	1	後期		2	※2	
	英語Ⅱ	演習	2	前期		2	※2	
	多文化共生のための異文化理解	講義	2	後期		2	※2	
	英語Ⅲ	演習	3	前期		2	※2	
	英語Ⅳ	演習	3	後期		2	※2	
	小計(7科目)	7	—	—	2	12		
	汎用的技能領域	IPUジェネリックスキルズⅠ(非認知能力)	講義	1	前期	2		※1
		TOEICⅠ	講義	1	前期		2	※2
		TOEICⅢ	講義	1	前期		2	※2
		コンピュータリテラシーⅠ	演習	1	前期	2		※1
		体育実技	実技	1	前期	1		※1
		体育理論	講義	1	後期	1		※1
		IPUジェネリックスキルズⅡ(アカデミック)	講義	1	後期	2		※1
		TOEICⅡ	講義	1	後期		2	※2
		TOEICⅣ	講義	1	後期		2	※2
		コンピュータリテラシーⅡ	演習	1	後期	2		※1
		コンピュータリテラシーⅢ	演習	2	前期		2	※2
		IPUジェネリックスキルズⅢ(シチズンシップ)	講義	2	後期		2	※2
		統計学	講義	3	前期		2	※2
		コンピュータリテラシーⅣ	演習	3	前期		2	※2
	小計(14科目)	14	—	—	10	16		
	人間・表現領域	表現活動による人間力養成Ⅰ	演習	1	通年		2	※2
		心理学	講義	1	前期		2	※2
		倫理学(宗教を含む)	講義	1	後期		2	※2
		表現活動による人間力養成Ⅱ	演習	2	通年		2	※2
		人権と教育	講義	2	前期		2	※2
		ライフコーチング	演習	2	後期		2	※2
		表現活動による人間力養成Ⅲ	演習	3	通年		2	※2
		コミュニケーションの心理学	講義	3	前期		2	※2
		表現活動による人間力養成Ⅳ	演習	4	通年		2	※2
		人間と法	講義	4	前期		2	※2
	小計(10科目)	10	—	—	0	20		
	数理領域	数学基礎	講義	2	前期		2	※2
		数学	講義	2	後期		2	※2
		自然科学基礎	講義	3	前期		2	※2
		食育論	講義	3	前期		2	※2
		生化学	講義	3	前期		2	※2
		小計(5科目)	5	—	—	0	10	
	社会領域	政治・経済学	講義	1	後期		2	※2
		日本国憲法	講義	1	後期		2	※2
		経営学	講義	2	前期		2	※2
		労働法規	講義	3	前期		2	※2
		近現代史	講義	3	後期		2	※2
		地理・地政学	講義	3	後期		2	※2
		労働安全衛生法	講義	3	後期		2	※2
		小計(7科目)	7	—	—	0	14	
	キャリア領域	フレッシュマンセミナー	講義	1	通年	2		※1
		基礎ゼミナールⅠ	演習	1	通年	2		※1
		ボランティア活動Ⅰ	演習	1	集中		2	※2
		キャリアディベロップメント	講義	2	通年	2		※1
基礎ゼミナールⅡ		演習	2	通年	2		※1	
ボランティア活動Ⅱ		演習	2	集中		2	※2	
キャリアデザインⅠ		講義	3	前期	1		※1	
キャリアデザインⅡ		講義	3	後期	1		※1	
キャリアサポート		講義	4	前期		2	※2	
小計(9科目)		9	—	—	10	6		
合計(52科目)	52	—	—	22	78			

(第21条関係)
別表第1 体育学部健康科学科 教育課程

(体育学部 健康科学科)【2021年度生以降対象】

科目区分	授業科目の名称	授業種別	配当		単位数		備考	
			年次	学期	必修	選択		
専門基礎科目	体育学	体育原理	講義	1	前期		2	
		体育心理学	講義	1	前期		2	
		体育測定・評価	講義	1	前期		2	
		健康科学概論	講義	1	後期		2	
		障害者スポーツ論	講義	1	後期		2	
		発育と発達	講義	1	後期		2	
		体育社会学	講義	2	前期		2	
		スポーツバイオメカニクスⅠ(基礎)	講義	2	後期		2	
		運動生理学Ⅰ(基礎)	講義	2	後期		2	
		スポーツ栄養学	講義	2	後期		2	
		トレーニング論Ⅰ(基礎)	講義	2	後期		2	
		スポーツ法学	講義	2	後期		2	
		トレーニング論Ⅱ(応用)	講義	3	前期		2	
		スポーツバイオメカニクスⅡ(応用)	講義	3	前期		2	
		スポーツ相談の実際	講義	3	後期		2	
	小計(15科目)		15	—	—	0	30	
	健康科学	運動学特論A	講義	1	前期		2	※1
		解剖学Ⅰ	講義	1	前期		2	※1
		生理学Ⅰ	講義	1	前期		2	※1
		基礎柔道整復学Ⅰ(総論)	講義	1	前期		2	※1
		運動学特論B	講義	1	後期		2	※1
		健康管理概論	講義	1	後期		2	
		基礎柔道整復学Ⅱ(骨折)	講義	1	後期		2	※1
		病理学Ⅰ	講義	2	前期		2	※1
		柔道整復解剖生理演習Ⅰ	演習	2	前期		2	※1
		基礎柔道整復学Ⅲ(脱臼)	講義	2	前期		2	※1
		柔道整復解剖生理演習Ⅱ	演習	2	後期		2	※2
		基礎柔道整復学Ⅳ(捻挫)	講義	2	後期		2	※1
		トレーニング演習	演習	2	後期		2	
		柔道整復解剖生理演習Ⅲ	演習	3	前期		2	
		公衆衛生学Ⅰ	講義	3	前期		2	※1
		解剖・生理学実習Ⅰ	実習	3	前期		1	※1
		柔道整復解剖生理演習Ⅳ	演習	3	後期		2	
		解剖・生理学実習Ⅱ	実習	3	後期		1	
		スポーツ装具論	講義	3	後期		2	
基礎柔道整復学Ⅴ(保存療法)		演習	3	集中		2	※1	
小計(20科目)		20	—	—	0	38		
合計(35科目)			35	—	—	0	68	

(第21条関係)
別表第1 体育学部健康科学科 教育課程

(体育学部 健康科学科)【2021年度生以降対象】

科目区分	授業科目の名称	授業種別	配当		単位数		備考	
			年次	学期	必修	選択		
コア科目	健康運動分野	運動障害と予防および救急処置	講義	2	前期		2	
		スポーツ健康実習	実習	2	前期		1	
		スポーツ健康論	講義	2	後期		2	
		小計(3科目)	3	—	—	0	5	
	スポーツ医学分野	検査・測定と評価Ⅰ	講義	2	前期		2	
		検査・測定と評価Ⅱ	講義	2	後期		2	
		救急処置	演習	2	集中		2	
		運動生理学Ⅱ(応用)	講義	3	前期		2	
		健康管理とスポーツ医学	講義	3	後期		2	
		労働衛生学	講義	3	後期		2	
		小計(6科目)	6	—	—	0	12	
	柔道整復分野	解剖学Ⅱ	講義	1	後期		2	※1
		生理学Ⅱ	講義	1	後期		2	※1
		関係法規	講義	1	後期		1	※1
		臨床柔道整復学Ⅰ(骨折Ⅰ)	講義	1	後期		2	※1
		外科学Ⅰ	講義	2	前期		2	※1
		臨床柔道整復学Ⅱ(骨折Ⅱ)	講義	2	前期		2	※1
		病理学Ⅱ	講義	2	後期		2	※1
		外科学Ⅱ	講義	2	後期		2	※1
		内科学Ⅰ	講義	2	後期		2	※1
		臨床柔道整復学Ⅲ(脱臼)	講義	2	後期		2	※1
		内科学Ⅱ	講義	3	前期		2	※1
		整形外科Ⅰ	講義	3	前期		2	※1
		リハビリテーション医学Ⅰ	講義	3	前期		2	※1
臨床柔道整復学Ⅳ(捻挫)		講義	3	前期		2	※1	
臨床柔道整復学Ⅴ(軟部組織Ⅰ)		講義	3	前期		2	※1	
公衆衛生学Ⅱ		講義	3	後期		2	※1	
整形外科Ⅱ		講義	3	後期		2	※1	
リハビリテーション医学Ⅱ		講義	3	後期		2	※1	
臨床柔道整復学Ⅵ(軟部組織Ⅱ)		講義	3	後期		2	※1	
臨床柔道整復学Ⅶ(臨床応用)		実習	3	後期		2	※1	
柔道整復治療学		講義	4	前期		2	※1	
臨床柔道整復学演習Ⅰ		演習	4	集中		1	※1	
臨床柔道整復学演習Ⅱ		演習	4	集中		1	※1	
臨床柔道整復学演習Ⅲ		演習	4	集中		1	※1	
小計(24科目)	24	—	—	0	44			
合計(33科目)		33	—	—	0	61		

(第21条関係)
別表第1 体育学部健康科学科 教育課程

(体育学部 健康科学科)【2021年度生以降対象】

科目区分	授業科目の名称	授業種別	配当		単位数		備考
			年次	学期	必修	選択	
コア科目	体育実技・柔道整復実技	整復学実技Ⅰ(包帯法Ⅰ)	1	前期		2	※1
		ダンスⅠ(基礎)	1	後期		1	
		整復学実技Ⅱ(包帯法Ⅱ)	1	後期		2	※1
		水泳Ⅰ(基礎)	1	集中		1	
		ダンスⅡ(応用)	2	前期		1	
		柔道Ⅰ(基礎)	2	前期	1		※1
		整復学実技Ⅲ(上肢・固定法Ⅰ)	2	前期		2	※1
		アスレティックトレーナー実習Ⅰ	2	前期		1	※1
		柔道Ⅱ(応用)	2	後期	1		※1
		整復学実技Ⅳ(上肢・固定法Ⅱ)	2	後期		2	※1
		アスレティックトレーナー実習Ⅱ	2	後期		1	※1
		整復学実技Ⅴ(下肢・固定法Ⅰ)	3	前期		2	※1
		健康運動実習	3	前・後		1	集中 ※1
		整復学実技Ⅵ(下肢・固定法Ⅱ)	3	後期		2	※1
		整復学実技Ⅶ(総合)	4	前期		2	※1
合計(15科目)	15	—	—	2	20		
インターンシップ	海外研修	実習	1・2・3	後期		1	集中
	整復臨床実習Ⅰ	実習	2	通年		1	※1
	整復臨床実習Ⅱ	実習	3	通年		1	※1
	整復臨床実習Ⅲ	実習	4	集中		1	※1
	整復臨床実習Ⅳ	実習	4	集中		1	※1
	小計(5科目)	5	—	—	0	5	
ゼミナール	ゼミナールⅠ(基礎)	演習	3	通年	4		※1
	課題研究Ⅰ	演習	3	通年		2	
	ゼミナールⅡ(応用)	演習	4	通年	4		※1
	卒業研究	演習	4	通年		4	
	課題研究Ⅱ	演習	4	通年		2	
	小計(5科目)	5	—	—	8	8	
合計(10科目)		10	—	—	8	13	
その他科目	他学部・他学科科目						
	他大学科目						
合計(145科目)		145	—	—	32	240	

※1 柔道整復師学校必修科目
※2 柔道整復師学校選択必修科目

卒業要件及び履修方法				
科目区分	単位数	必修	選択	教養科目より必修科目24単位以上、専門基礎科目より25単位以上、コア科目より75単位以上を修得し、合計124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:年間40単位)
教養科目	24	22	2	
専門基礎科目	25	0	25	
コア科目	75	10	65	
全体	0	0	0	
合計	124	32	92	

(第21条関係)
別表第1 経営学部現代経営学科 教育課程

(経済経営学部 現代経営学科)【2022年度生以降対象】

科目区分	授業科目の名称	授業種別	配当		単位数		備考
			年次	学期	必修	選択	
教養科目	言語・文化領域	英会話	演習	1	前期	2	
		日本の伝統文化	講義	1	前期		2
		英語Ⅰ	演習	1	後期		2
		英語Ⅱ	演習	2	前期		2
		多文化共生のための異文化理解	講義	2	後期		2
		英語Ⅲ	演習	3	前期		2
		英語Ⅳ	演習	3	後期		2
		小計(7科目)	7	—	—	2	12
	汎用的技能領域	IPUジェネリックスキルズⅠ(非認知能力)	講義	1	前期	2	
		TOEICⅠ	講義	1	前期		2
		TOEICⅢ	講義	1	前期		2
		コンピュータリテラシーⅠ	演習	1	前期	2	
		体育実技	実技	1	前期	1	
		体育理論	講義	1	後期	1	
		IPUジェネリックスキルズⅡ(アカデミック)	講義	1	後期	2	
		TOEICⅡ	講義	1	後期		2
		TOEICⅣ	講義	1	後期		2
		コンピュータリテラシーⅡ	演習	1	後期	2	
		コンピュータリテラシーⅢ	演習	2	前期		2
		IPUジェネリックスキルズⅢ(シチズンシップ)	講義	2	後期		2
		統計学	講義	3	前期		2
		コンピュータリテラシーⅣ	演習	3	前期		2
	小計(14科目)	14	—	—	10	16	
	人間・表現領域	表現活動による人間力養成Ⅰ	演習	1	通年		2
		心理学	講義	1	前期		2
		倫理学(宗教を含む)	講義	1	後期		2
		表現活動による人間力養成Ⅱ	演習	2	通年		2
		人権と教育	講義	2	前期		2
		ライフコーチング	演習	2	後期		2
		表現活動による人間力養成Ⅲ	演習	3	通年		2
		コミュニケーションの心理学	講義	3	前期		2
		表現活動による人間力養成Ⅳ	演習	4	通年		2
		人間と法	講義	4	前期		2
		小計(10科目)	10	—	—	0	20
	数理領域	数学基礎	講義	2	前期		2
		数学	講義	2	後期		2
		自然科学基礎	講義	3	前期		2
		食育論	講義	3	前期		2
		生化学	講義	3	前期		2
		小計(5科目)	5	—	—	0	10
	社会領域	政治・経済学	講義	1	後期		2
		日本国憲法	講義	1	後期		2
		経営学	講義	2	前期		2
		労働法規	講義	3	前期		2
		近現代史	講義	3	後期		2
		地理・地政学	講義	3	後期		2
		労働安全衛生法	講義	3	後期		2
		小計(7科目)	7	—	—	0	14
	キャリア領域	フレッシュマンセミナー	講義	1	通年	2	
		基礎ゼミナールⅠ	演習	1	通年	2	
		ボランティア活動Ⅰ	演習	1	集中		2
		キャリアディベロップメント	講義	2	通年	2	
基礎ゼミナールⅡ		演習	2	通年	2		
ボランティア活動Ⅱ		演習	2	集中		2	
キャリアデザインⅠ		講義	3	前期	1		
キャリアデザインⅡ		講義	3	後期	1		
キャリアサポート		講義	4	前期		2	
小計(9科目)		9	—	—	10	6	
合計(52科目)		52	—	—	22	78	

(第21条関係)
別表第1 経営学部現代経営学科 教育課程

(経営学部 現代経営学科)【2022年度生以降対象】

科目区分	授業科目の名称	授業 種別	配当		単位数		備考	
			年次	学期	必修	選択		
マネジメント 領域	社会調査法	講義	1	前期		2		
	公共経営論	講義	1	前期		2		
	現代ビジネス概論	講義	1	前期		2		
	経営学概論	講義	1	前期	2			
	経済学概論	講義	1	前期		2		
	マーケティング総論	講義	1	前期		2		
	SDGs入門	講義	1	前期		2		
	都市計画論	講義	1	前期		2		
	会計学総論	講義	1・2	前期		2		
	簿記入門	講義	1・2	前期		2		
	キャリア開発論	講義	1・2	前期		2		
	ライフプランニング	講義	1・2	前期		2		
	現代経営論	講義	1	後期		2		
	マネジメント論	講義	1	後期		2		
	プロジェクト・ゼロ	講義	1	後期		2		
	地域政策論	講義	1	後期		2		
	ビジネスプレゼンテーション	演習	2	前期		2		
	現代企業論	講義	2	後期		2		
	日本経済論	講義	2	後期		2		
	世界経済論	講義	2	後期		2		
	ビジネスデータ分析	講義	2	後期		2		
	ビジネスマナー	講義	2	後期		2		
	スポーツビジネス論	講義	2	後期		2		
	プロジェクト研究	演習	2	後期		2		
	公務員と法	講義	3	前期		2		
	公務員と法Ⅱ	講義	3	後期		2		
小計(26科目)		26	—	—	2	50		
専門基礎科目	外国語領域	日本語表現Ⅰ	講義	1	前期		2	
		日本語会話Ⅰ	講義	1	前期		2	
		総合英語Ⅰ(基礎)	講義	1	前期		2	IPUNZ単位読替科目
		英語表現Ⅰ(基礎)	演習	1	前期		2	IPUNZ単位読替科目
		English SkillsⅠ	演習	1	前期		2	IPUNZ単位読替科目
		TOEIC入門Ⅰ(基礎)	演習	1	前期		2	IPUNZ単位読替科目
		日本語表現A(音声)	講義	1	後期		2	
		日本語表現B(語彙・意味)	講義	1	後期		2	
		日本語表現Ⅱ	講義	1	後期		2	
		日本語会話Ⅱ	講義	1	後期		2	
		総合英語Ⅱ(応用)	講義	1	後期		2	IPUNZ単位読替科目
		英語表現Ⅱ(応用)	演習	1	後期		2	IPUNZ単位読替科目
		English SkillsⅡ	演習	1	後期		2	IPUNZ単位読替科目
		TOEIC入門Ⅱ(応用)	演習	1	後期		2	IPUNZ単位読替科目
		日本語表現C(文法・文体)	講義	2	前期		2	
		リーディング・スキルズⅠ	講義	2	前期		2	
		総合日本語Ⅰ(基礎)	講義	2	前期		2	
		日本語教育概論Ⅱ	講義	2	前期		2	
		日本語学Ⅱ	講義	2	前期		2	
		言語学	講義	2	前期		2	
		社会言語学	講義	2	前期		2	
		日本語教育概論Ⅰ	講義	2	後期		2	
		日本語学Ⅰ	講義	2	後期		2	
		日本語表現D(文字・表記)	講義	2	後期		2	
		日本ビジネス事情	講義	2	後期		2	
		文章作成	講義	2	後期		2	
		リーディング・スキルズⅡ	講義	2	後期		2	
		茶道・華道で考える日本の伝統文化	講義	2	後期		2	
		総合日本語Ⅱ(応用)	講義	2	後期		2	
武道で考える日本の伝統文化	講義	3	前期		2			
小計(30科目)		30	—	—	0	60		
合計(56科目)		56	—	—	2	110		

(第21条関係)
別表第1 経営学部現代経営学科 教育課程

(経済経営学部 現代経営学科)【2022年度生以降対象】

科目区分	授業科目の名称	授業種別	配当		単位数		備考	
			年次	学期	必修	選択		
コア科目	経営学	スポーツ経営学	講義	1	後期		2	
		経営管理論	講義	2	前期		2	
		経営戦略論	講義	2	前期		2	
		企業経営実践論Ⅰ	講義	2・3	前期		2	
		経営組織論	講義	2	後期		2	
		ビジネス特別講義Ⅰ	講義	2・3	後期		2	
		プロスポーツ経営論	講義	2	集中		2	
		中小企業論	講義	3	前期		2	
		人的資源論	講義	3	前期		2	
		国際経営論	講義	3	前期		2	
		イノベーション論	講義	3	前期		2	
		企業経営実践論Ⅱ	講義	3・4	前期		2	
		ベンチャー企業論	講義	3	後期		2	
		経営情報論	講義	3	後期		2	
		ビジネス特別講義Ⅱ	講義	2	後期		2	
	小計(15科目)	15	—	—	0	30		
	公共・国際・経済学	マクロ経済学	講義	1	後期	2		
		多文化環境論	講義	1	前期		2	
		ミクロ経済学	講義	1	後期	2		
		応用マクロ経済学	講義	2	前期		2	
		異文化コミュニケーション	講義	1	後期		2	
		アジア太平洋のビジネス環境	講義	1	後期		2	
		異文化理解と日本語教育	講義	2	前期		2	
		応用ミクロ経済学	講義	2	前期		2	
		国際関係論	講義	2	前期		2	
		行政学	講義	2	後期		2	
		キャリアマネジメントⅠ	講義	2	後期		2	
		国際経済学	講義	2	後期		2	
		財政学	講義	2	後期		2	
		公共経済学	講義	2	後期		2	
		行政法	講義	3	前期		2	
		キャリアマネジメントⅡ	講義	3	前期		2	
		地方自治論	講義	3	前期		2	
公共経営セミナー		講義	3	前期		2		
経済政策論		講義	3	前期		2		
ビジネス英書講読		演習	3	前期		2		
キャリアマネジメントⅢ		講義	3	後期		2		
交通経済論		講義	3	後期		2		
アジア経済論		講義	3	後期		2		
キャリアマネジメントⅣ		講義	4	通年		2		
小計(24科目)	24	—	—	4	44			
会計・ファイナンス	簿記演習	演習	1	前期		2		
	原価計算	講義	2	前期		2		
	財務会計	講義	2	前期		2		
	商業簿記	講義	2・3	前期		2		
	管理会計	講義	2	後期		2		
	工業簿記	講義	2・3	後期		2		
	財務諸表分析	講義	3	前期		2		
	金融論	講義	3	前期		2		
	小計(8科目)	8	—	—	0	16		
	マーケティング	流通論	講義	1	後期		2	
民法Ⅰ		講義	1	後期		2		
民法Ⅱ		講義	2	前期		2		
消費者行動論		講義	2	前期		2		
マーケティング特論		講義	2	前期		2		
マーケティングリサーチ		講義	2	後期		2		
会社法		講義	2	後期		2		
企業取引法		講義	3	前期		2		
販売戦略		講義	3	前期		2		
スポーツマーケティング論		講義	3	前期		2		
情報分析論		講義	3	後期		2		
ブランド戦略論		講義	3	後期		2		
税法		講義	3	後期		2		
スポーツメディア論		講義	4	前期		2		
小計(14科目)	14	—	—	0	28			

(第21条関係)
別表第1 経営学部現代経営学科 教育課程

(経済経営学部 現代経営学科)【2022年度生以降対象】

科目区分	授業科目の名称	授業種別	配当		単位数		備考	
			年次	学期	必修	選択		
コア科目	キャリア形成	資格検定対策Ⅰ(語学系)	演習	1・2	前期		2	
		フィールドワーク	実習	1・2	前・後		1	
		海外研修	実習	1・2・3・4	前期		1	
		資格検定対策Ⅱ(情報系)	演習	1・2	後期		2	
		資格検定対策Ⅴ(ICTスキル系)	演習	1	前・後		2	
		現代経営実践演習基礎Ⅰ	演習	1	前期		2	
		現代経営実践演習基礎Ⅱ	演習	1	後期		2	
		国際交流実習Ⅰ(基礎)	実習	1・2・3	後期		1	
		国際交流実習Ⅱ(応用)	実習	1・2・3	後期		1	
		公衆衛生学	講義	2	前期		2	
		運動生理学Ⅰ(基礎)	講義	2	前期		2	
		解剖学	講義	2	前期		2	
		インターンシップⅠ	実習	2・3	前・後		2	
		インターンシップ(公共経営)	実習	2・3	前・後		2	
		スポーツバイオメカニクスⅠ(基礎)	講義	2	後期		2	
		救急処置	演習	2	集中		2	
		特別演習Ⅲ	演習	3・4	通年		4	
		労働衛生学	講義	3	前期		2	
		特別講義Ⅰ	講義	4	通年		4	
		特別演習Ⅰ	演習	4	通年		4	
		資格検定対策Ⅲ(簿記系)	演習	3・4	前期		2	
		健康管理とスポーツ医学	講義	3	後期		2	
		特別講義Ⅱ	講義	4	通年		4	
		特別演習Ⅱ	演習	4	通年		4	
		資格検定対策Ⅳ(ビジネス系)	演習	3・4	後期		2	
		スポーツイベント運営実習	実習	3	集中		1	
		日本語教授法Ⅰ	講義	3	後期		2	
		日本語評価法	講義	3	後期		2	
		日本語教授法Ⅱ	講義	3	前期		2	
		日本語教育演習Ⅰ	演習	3	前期		2	
		日本語教育実習Ⅰ	実習	3	前期		1	
		日本語教育演習Ⅱ	演習	4	後期		2	
		日本語教育実習Ⅱ	実習	4	後期		1	
		インターンシップⅡ	実習	4	前・後		1	
小計(34科目)		34	—	—	0	70		
ゼミナール	ゼミナールⅠ(基礎)	演習	3	通年	4			
	ゼミナールⅡ(応用)	演習	4	通年	4			
	卒業研究	演習	4	通年		4		
	小計(3科目)		3	—	—	8	4	
合計(98科目)		98	—	—	12	192		
その他科目	他学部・他学科科目							
	他大学科目							
合計(206科目)		206	—	—	36	380		

卒業要件及び履修方法				
科目区分	単位数	必修	選択	
教養科目	30	22	8	教養科目より必修科目22単位を含む30単位以上, 専門基礎科目より必修科目2単位を含む24単位以上, コア科目より必修科目12単位を含む46単位以上を修得し, 合計124単位以上修得すること。 (履修科目の登録の上限:年間40単位)
専門基礎科目	24	2	22	
コア科目	46	12	34	
全体	24	0	24	
合計	124	36	88	

(第21条第4項関係)
別表第2 修得できる教員免許状の種類及び教科

【2023年度以降入学生対象】

学 部	学 科		取得資格・免許状の種類
体育学部	体育学科		中学校教諭一種普通免許状(保健体育)
			高等学校教諭一種普通免許状(保健体育)
次世代教育学部	こども発達学科		幼稚園教諭一種普通免許状
	教育経営学科	小学校教育専攻	小学校教諭一種普通免許状
			特別支援学校教諭一種免許状
	教育経営学科	中高英語教育専攻	中学校教諭一種普通免許状(英語)
			高等学校教諭一種普通免許状(英語)
	教育経営学科 通信教育課程	初等教育専攻	幼稚園教諭一種普通免許状
			小学校教諭一種普通免許状
			特別支援学校教諭一種普通免許状
		中高英語教育専攻	中学校教諭一種普通免許状(英語)
			高等学校教諭一種普通免許状(英語)
中高数学教育専攻		中学校教諭一種普通免許状(数学)	
	高等学校教諭一種普通免許状(数学)		

(第21条第4項関係)
別表第2 教育課程と指定規則との対比表1(幼稚園教諭免許)

幼稚園教諭一種免許状

通学課程【2020年度生以降対象】

免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する本学で定められた開設授業科目			備考
		授業科目名	単位数		
科目			必修	選択	
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	日本国憲法	日本国憲法	2		
	体育	体育理論	1		
		体育実技	1		
	外国語コミュニケーション	英会話	2		
情報機器の操作	コンピュータリテラシー I	2			
教教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育の思想と原理A	2		
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む)	教職入門A	2		
	教育に関する社会的、制度的または経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む)	教育社会学	2		
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学A	2		
		発達心理学A	2		
	子どものこころ			2	
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論A	2			
教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論(幼児)	2			
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	教育方法・技術論(初等)	2		
		子どもとマルチメディア		2	
	幼児理解の理論及び方法				
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	子ども子育て教育相談	2			
教育実践に関する科目	教育実習	教育実習事前事後指導(幼稚園)	1		
		教育実習 I (幼稚園)	2		
		教育実習 II (幼稚園)	2		
	学校体験活動	—			
教職実践演習	保育・教職実践演習(幼稚園)	2			
領域及び保育内容の指導法に関する科目	保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	子どもと健康	2		
		子どもと人間関係	2		
		子どもと環境	2		
		子どもと言葉	2		
		表現A(造形表現)	2		
		表現B(音楽表現)	2		
		表現C(身体表現)	2		
領域に関する専門的事項	国語(書写を含む)	言葉の理解		2	これらより6単位 選択必修
	算数	数の理解		2	
	生活	生活の理解		2	
	音楽	音楽の理解		2	
	図画工作	美術の理解		2	
	体育	運動・健康の理解		2	
大学が独自に設定する科目		人権と教育		2	
		次世代教育学総論	2		

(第21条第4項関係)
別表第2 教育課程と指定規則との対比表1(幼稚園教諭免許)

幼稚園教諭一種免許状

通信教育課程【2019年度生以降対象】

免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する本学で定められた開設授業科目			備考
科目		授業科目名	単位数		
			必修	選択	
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	日本国憲法	日本国憲法	2		
	体育	体育理論	1		
		体育実技	1		
	外国語コミュニケーション	英会話	2		
	情報機器の操作	情報リテラシー I (基礎)	2		
教教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育の思想と原理A(初等)	2		
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む)	教育入門	2		
	教育に関する社会的、制度的または経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む)	教育と社会	2		
		教育経営学		2	
		教育行政学		2	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学A(初等)	2		
		発達心理学	2		
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論(初等)	2			
教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論A(初等)	2			
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	教育方法・技術論A(初等)	2		
	幼児理解の理論及び方法	子ども子育て教育相談	2		
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法				
教育実践に関する科目	教育実習	教育実習事前事後指導(幼稚園・小学校)	1		
		教育実習 I (幼稚園・小学校)	2		
		教育実習 II (幼稚園・小学校)	2		
	学校体験活動	—			
	教職実践演習	保育・教職実践演習(幼稚園・小学校)	2		
領域に関する専門的事項	国語	言葉の理解		2	これらより6単位 選択必修
	算数	数の理解		2	
	生活	生活の理解		2	
	音楽	音楽の理解		2	
	図画工作	美術の理解		2	
	体育	運動・健康の理解		2	
領域及び保育内容の指導法に関する科目	保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	子どもと健康	2		
		子どもと人間関係	2		
		子どもと環境	2		
		子どもと言葉	2		
		表現A(造形表現)	2		
		表現B(音楽表現)	2		
		表現C(身体表現)	2		
大学が独自に設定する科目		人権と教育		2	
		次世代教育学総論	2		
		次世代教育実践学総論	2		
		学級経営総論		2	
		学級経営実践問題		2	
		学力と評価		2	

43 28

(幼稚園教諭免許状の取得特例科目)

免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する本学で定められた開設授業科目			備考
科目		授業科目名	単位数		
			必修	選択	
教職に関する科目	教職の意義等に関する科目	教職入門	2		
	教育の基礎理論に関する科目	教育法制論	2		
	教育課程及び指導法に関する科目	教育課程特論	1		
		教育方法・技術特論(初等)	2		
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	幼児理解特論	1			

※「教職入門」「教育法制論」以外の上記科目については、幼稚園教諭免許状取得特例を用いて取得を希望する科目等履修生のみ履修・修得ができる

(第21条第4項関係)
別表第2 教育課程と指定規則との対比表2(小学校教諭免許)

小学校教諭一種免許状

通学課程【2020年度生以降対象】

免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する本学で定められた開設授業科目			備考
科目	授業科目名	単位数			
		必修	選択		
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	日本国憲法	日本国憲法	2		
	体育	体育理論	1		
		体育実技	1		
	外国語コミュニケーション	英会話	2		
情報機器の操作	コンピュータリテラシー I	2			
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育の思想と原理B	2		
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職入門B	2		
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育社会学	2		
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学B	2		
		発達心理学B		2	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論B	2		
教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論(初等)	2			
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳教育の理論及び指導法(初等)	2		
	総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習の時間の指導法(初等)	2		
	特別活動の指導法	特別活動の指導法(初等)	2		
	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	教育方法・技術論(初等)	2		
	生徒指導の理論及び方法	生徒進路・進路指導論(初等)	2		
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法				
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育相談B	2		
教育実践に関する科目	教育実習	教育実習事前・事後指導(小学校)	1		
		教育実習 I (小学校)	2		
		教育実習 II (小学校)	2		
	学校体験活動	—			
	教職実践演習	教職実践演習(小学校)	2		
教科及び教科の指導法に関する科目	国語(書写を含む。)	言葉の理解		2	これらより10単位 選択必修
	社会	社会の理解		2	
	算数	数の理解		2	
	理科	自然の理解		2	
	生活	生活の理解		2	
	家庭	衣・食・住の理解		2	
	図画工作	美術の理解		2	
	音楽	音楽の理解		2	
	体育	健康・運動の理解		2	
	外国語	英語の理解		2	
教科及び教科の指導法に関する科目	国語(書写を含む。)	国語科教育法	2		
	社会	社会科教育法	2		
	算数	算数科教育法	2		
	理科	理科教育法	2		
	生活	生活科教育法	2		
	音楽	音楽科教育法	2		
	図画工作	図画工作科教育法	2		
	家庭	家庭科教育法	2		
	体育	体育科教育法	2		
	外国語	小学校英語科教育法	2		
大学が独自に設定する科目		人権と教育		2	
		次世代教育学総論	2		
		教育評価		2	
		介護等体験実習	1		

(第21条第4項関係)
別表第2 教育課程と指定規則との対比表2(小学校教諭免許)

小学校教諭一種免許状

通信教育課程【2019年度生以降対象】

免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する本学で定められた開設授業科目			備考
科目	授業科目名	単位数			
		必修	選択		
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	日本国憲法	日本国憲法	2		
	体育	体育理論	1		
		体育実技	1		
	外国語コミュニケーション	英会話	2		
	情報機器の操作	情報リテラシー I (基礎)	2		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育の思想と原理A(初等)	2		
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職入門	2		
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育と社会	2		
		教育経営学		2	
		教育行政学		2	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学A(初等)	2		
		発達心理学		2	
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論(初等)	2			
教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論A(初等)	2			
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳教育の理論及び指導法(初等)	2		
	総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習の時間の指導法(初等)	2		
	特別活動の指導法	特別活動の指導法A(初等)	2		
	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	教育方法・技術論A(初等)	2		
	生徒指導の理論及び方法				
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	生徒進路・進路指導論A(初等)	2		
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育相談の理解	2		
教育実践に関する科目	教育実習	教育実習事前事後指導(幼稚園・小学校)	1		
		教育実習 I (幼稚園・小学校)	2		
		教育実習 II (幼稚園・小学校)	2		
	学校体験活動	—			
教職実践演習	保育・教職実践演習(幼稚園・小学校)	2			
教科及び教科の指導法に関する科目	国語(書写を含む。)	言葉の理解		2	これらより10単位 選択必修
	社会	社会の理解		2	
	算数	数の理解		2	
	理科	自然の理解		2	
	生活	生活の理解		2	
	家庭	衣・食・住の理解		2	
	図画工作	美術の理解		2	
	音楽	音楽の理解		2	
	体育	健康・運動の理解		2	
	外国語	英語の理解		2	
教科及び教科の指導法に関する科目	国語(書写を含む。)	国語科教育法	2		
	社会	社会科教育法	2		
	算数	算数科教育法	2		
	理科	理科教育法	2		
	生活	生活科教育法	2		
	音楽	音楽科教育法	2		
	図画工作	図画工作科教育法	2		
	家庭	家庭科教育法	2		
	体育	体育科教育法	2		
	外国語	小学校英語科教育法	2		
大学が独自に設定する科目	人権と教育			2	
	次世代教育学総論	2			
	次世代教育実践学総論	2			
	学級経営総論		2		
	学級経営実践問題		2		
	小学校外国語活動の指導法		2		
	学力と評価		2		
介護等体験実習	1				

(第21条第4項関係)
別表第2 教育課程と指定規則との対比表4(中学校・高等学校教諭免許〔英語〕)

中学校・高等学校教諭一種免許状(英語)

通学課程【2020年度生以降対象】

免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する本学で定められた開設授業科目			備考	
科目		授業科目名	単位数			
				必修	選択	
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	日本国憲法	日本国憲法	2			
	体育	体育理論 体育実技	1 1			
	外国語コミュニケーション	英会話	2			
	情報機器の操作	コンピュータリテラシー I	2			
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育の思想と原理C	2		通信教育課程は「情報リテラシー I (基礎)」	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職入門C	2			
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育社会学	2			
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学C 発達心理学C	2	2		
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論C	2			
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論(中等)	2			
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳教育の理論及び指導法(中等)	2		中免のみ必修	
	総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習の時間の指導法(中等)	2			
	特別活動の指導法	特別活動の指導法(中等)	2			
	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	教育方法・技術論(中等)	2			
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導・進路指導論(中等)	2			
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法					
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育相談C	2			
教育実践に関する科目	教育実習	教育実習事前・事後指導(英語)	1		中免のみ必修	
		教育実習 I (中学校・高等学校)	2			
		教育実習 II (中学校)	2			
	学校体験活動	—				
	教職実践演習	教職実践演習(中学校・高等学校)	2			
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	英語学	英語文法	2		高免は選択
			上級英語文法		2	
			実践英文法(基礎)		2	
			実践英文法(応用)		2	
			英語学概論		2	
		英語文学	英語文学	2		
			英語文学史		2	
		英語コミュニケーション	上級オーラルコミュニケーション	2		
			英語のリズムとイントネーション		2	
			時事英語		2	
	映画とテレビの英語			2		
	リーディング・スキル(基礎)			2		
	リーディング・スキル(応用)		2			
リーディング・スキル(実践)		2				
異文化理解	異文化コミュニケーション論	2				
	比較文化論		2			
各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	英語科教育法 I (基礎)	2				
	英語科教育法 II (応用)	2				
	英語科教育法 III (発展)	2				
	英語科教育法 IV (実践)	2				
大学が独自に設定する科目	人権と教育		2	中免のみ必修		
	教育評価		2			
	英語教授法特論		2			
	介護等体験実習	1				

※「教科に関する専門的事項」は、各科目区分から最低1科目を必修とし、合計20単位以上修得

※「大学が独自に設定する科目科目」は、中一種は1単位以上 高一種は8単位以上修得

(第21条第4項関係)
別表第2 教育課程と指定規則との対比表4(中学校・高等学校教諭免許〔英語〕)

中学校・高等学校教諭一種免許状(英語)

通信教育課程【2019年度生以降対象】

免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する本学で定められた開設授業科目			備考	
科目		授業科目名	単位数			
				必修	選択	
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	日本国憲法	日本国憲法	2			
	体育	体育理論	1			
		体育実技	1			
	外国語コミュニケーション	英会話	2			
	情報機器の操作	情報リテラシー I (基礎)	2			
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育の思想と原理B(中等)	2			
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職入門	2			
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育と社会		2		
		教育経営学			2	
		教育行政学			2	
		教育法制論			2	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学B(中等) 発達心理学	2		2	
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論(中等)	2				
教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論B(中等)	2				
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳教育の理論及び指導法(中等)	2		中免のみ必修	
	総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習の時間の指導法(中等)	2			
	特別活動の指導法	特別活動の指導法B(中等)	2			
	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	教育方法・技術論B(中等)	2			
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導・進路指導論(中等)	2			
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法					
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育相談の理解	2			
教育実践に関する科目	教育実習	教育実習事前・事後指導(英語)	1			
		教育実習 I (中学校・高等学校)	2			
		教育実習 II (中学校)	2		中免のみ必修	
	学校体験活動	—				
	教職実践演習	教職実践演習(中学校・高等学校)	2			
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	英語学	英語文法	2		
			上級英語文法		2	
			上級英語		2	
		英語文学	英語文学	2		
			英語文学史		2	
		英語コミュニケーション	上級オーラルコミュニケーション I (発展)	2		
			上級オーラルコミュニケーション II (実践)		2	
			英語とリズムとイントネーション		2	
			映画とテレビの英語		2	
			時事英語		2	
	異文化理解	異文化コミュニケーション論	2			
		比較文化論		2		
		国際関係論		2		
		時事問題		2		
		英語科教育法 I (基礎)	2			
各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	英語科教育法 II (応用)	2				
	英語科教育法 III (発展)	2				
	英語科教育法 IV (実践)	2				
	英語科教育法 IV (実践)	2		高免は選択		
大学が独自に設定する科目	人権と教育			2		
	英語思考法			2		
	学力と評価			2		
	学級経営総論			2		
	学級経営実践問題			2		
	介護等体験実習		1			
					2	中免のみ必修

※「教科に関する専門的事項」は、各科目区分から最低1科目を必修とし、合計20単位以上修得

※「大学が独自に設定する科目科目」は、中一種は1単位以上 高一種は6単位以上修得

(第21条第4条関係)

別表第2 教育課程と指定規則との対比表3(中学校・高等学校教諭免許〔保健体育〕)

中学校・高等学校教諭一種免許状(保健体育)

【2020年度生以降対象】

免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する本学で定められた開設授業科目			備考
科目		授業科目名	単位数		
				必修	選択
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	日本国憲法	日本国憲法	2		
	体育	体育理論 体育実技	1 1		
	外国語コミュニケーション	英会話	2		
	情報機器の操作	コンピュータリテラシー I	2		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育の思想と原理C	2		
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職入門C	2		
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育社会学	2		
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学C 発達心理学C	2		2
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論C	2		
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論(中等)	2		
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳教育の理論及び指導法(中等)	2		中免のみ必修
	総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習の時間の指導法(中等)	2		
	特別活動の指導法	特別活動の指導法(中等)	2		
	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	教育方法・技術論(中等)	2		
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導・進路指導論(中等)	2		
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法				
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)	教育相談C	2		
教育実践に関する科目	教育実習	教育実習事前・事後指導(保健体育) 教育実習 I(中学校・高等学校) 教育実習 II(中学校)	1 2 2		中免のみ必修
	学校体験活動	—			
	教職実践演習	教職実践演習(中学校・高等学校)	2		
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	バスケットボール I(基礎)	1		
		バスケットボール II(応用)		1	
		バレーボール I(基礎)	1		
		バレーボール II(応用)		1	
		ソフトボール	1		
		ハンドボール I(基礎)		1	
		陸上 I(基礎)	1		
		陸上 II(応用)		1	
		器械運動 I(基礎)	1		
		ダンス I(基礎)	1		
		ダンス II(応用)		1	
		体づくり運動	1		
		柔道 I(基礎)	1		
		柔道 II(応用)		1	
		剣道 I(基礎)	1		
		剣道 II(応用)		1	
		レスリング		1	
		ラグビー		1	
		サッカー		1	
	水泳 I(基礎)	1			
	「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」・運動学(運動方法学を含む。)	体育原理	2		
		体育心理学		2	
		体育行政学		2	
体育社会学			2		
体育史			2		
生理学(運動生理学を含む。)	スポーツ経営学		2		
	運動学	2			
衛生学・公衆衛生学	生理学	2			
	運動生理学 I(基礎)		2		
学校保健(小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。)	公衆衛生学	2			
	学校保健	2			
各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	保健体育科指導法 I(基礎)	2			
	保健体育科指導法 II(応用)	2			
	保健体育科指導法 III(発展)	2			
	保健体育科指導法 IV(実践)	2			
大学が独自に設定する科目	人権と教育		2		
	介護等体験実習	1			中免のみ必修

※「教科に関する専門的事項」は、各科目区分から最低1科目を必修とし、合計20単位以上修得

※「大学が独自に設定する科目」は、中一種は1単位以上 高一種は8単位以上修得

(第21条第4項関係)
別表第2 教育課程と指定規則との対比表4(中学校・高等学校教諭免許〔数学〕)

中学校・高等学校教諭一種免許状(数学)

通信教育課程【2019年度生以降対象】

免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する本学で定められた開設授業科目			備考	
科目	授業科目名	単位数				
		必修	選択			
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	日本国憲法	日本国憲法	2			
	体育	体育理論 体育実技	1 1			
	外国語コミュニケーション	英会話	2			
	情報機器の操作	情報リテラシー I(基礎)	2			
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育の思想と原理B(中等)	2			
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職入門	2			
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育と社会 教育経営学 教育行政学 教育法制論	2 2 2			
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学B(中等) 発達心理学	2 2			
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論(中等)	2			
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論B(中等)	2			
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳教育の理論及び指導法(中等)	2		中免のみ必修	
	総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習の時間の指導法(中等)	2			
	特別活動の指導法	特別活動の指導法B(中等)	2			
	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	教育方法・技術論B(中等)	2			
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導・進路指導論(中等)	2			
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法					
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育相談の理解	2				
教育実践に関する科目	教育実習	教育実習事前・事後指導(数学)	1			
		教育実習 I(中学校・高等学校)	2			
		教育実習 II(中学校)	2		中免のみ必修	
	学校体験活動					
教職実践演習	教職実践演習(中学校・高等学校)	2				
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	代数学	代数学 I	2		2単位以上選択必修
			代数学 II		2	
			代数学 III		2	
		幾何学	幾何学 I	2		
			幾何学 II		2	
			幾何学 III		2	
		解析学	解析学 I	2		
			解析学 II		2	
			解析学 III		2	
		「確率論、統計学」	確率論 統計学		2 2	
コンピュータ	コンピュータ演習 I	2				
	コンピュータ演習 II		2			
各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	数学科教育法A	2		高免は選択		
	数学科教育法B	2				
	数学科教育法C	2				
	数学科教育法D	2				
大学が独自に設定する科目	人権と教育		2	中免のみ必修		
	学力と評価		2			
	学級経営総論		2			
	学級経営実践問題		2			
	介護等体験実習	1				

※「教科に関する専門的事項」は、各科目区分から最低1科目を必修とし、合計20単位以上修得

※「大学が独自に設定する科目科目」は、中一種は1単位以上 高一種は6単位以上修得

(第21条第4項関係)
別表第2 教育課程と指定規則との対比表2(特別支援学校教諭免許)

特別支援学校教諭一種免許状

通学課程【2023年度生以降対象】

免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する本学で定められた開設授業科目			備考
		授業科目名	単位数		
科目			必修	選択	
特別支援教育の基礎理論に関する科目		特別支援教育	2		
		特別支援教育総論		2	
特別支援教育領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	知的障害児の心理・生理・病理	2		
		肢体不自由児の心理・生理・病理	2		
		病弱児の心理・生理・病理	2		
	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	知的障害児教育Ⅰ	2		
		知的障害児教育Ⅱ	2		
		肢体不自由児教育	2		
		病弱児教育	2		
自立活動実践論		2			
・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目 ・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	障害児教育相談と心理アセスメント	2			
免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	—			
	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	—			
	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	重複障害児教育総論	2		
	・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目 ・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	発達障害児教育総論	2		
		視覚障害児教育論	2		
	聴覚障害児教育論	2			
心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習	特別支援教育実習事前・事後指導	1			
	特別支援教育実習	2			

(第21条第4項関係)
別表第2 教育課程と指定規則との対比表2(特別支援学校教諭免許)

特別支援学校教諭一種免許状

通信教育課程【2023年度生以降対象】

免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する本学で定められた開設授業科目			備考
科目		授業科目名	単位数		
			必修	選択	
特別支援教育の基礎理論に関する科目		特別支援教育	2		
		特別支援教育総論		2	
特別支援教育領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	知的障害児の心理・生理・病理	2		
		肢体不自由児の心理・生理・病理	2		
		病弱児の心理・生理・病理	2		
	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	知的障害児教育Ⅰ	2		
		知的障害児教育Ⅱ	2		
		肢体不自由児教育	2		
		病弱児教育	2		
自立活動実践論		2			
・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目 ・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	障害児教育相談と心理アセスメント	2			
免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	—			
	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	—			
	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	重複障害児教育総論	2		
	・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目 ・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	発達障害児教育総論	2		
		視覚障害児教育論	2		
	聴覚障害児教育論	2			
心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習		特別支援教育実習事前・事後指導	1		
		特別支援教育実習	2		

(第21条第5項関係)
別表第3 保育士資格に関する科目

保育士資格に関する科目

【2020年度生以降対象】

保育士資格に関する科目区分		左記に対応する本学で定められた開講授業科目				備考	
系列	教科目	授業科目	授業区分	単位数			
				必修	選択		
保育の本質・目的に関する科目	保育原理	保育原理	講義	2		※	
	教育原理	教育の思想と原理A	講義	2		※	
	子ども家庭福祉	子ども家庭福祉	講義	2		※	
	社会福祉	社会福祉学	講義	2		※	
	子ども家庭支援論	子ども家庭支援論	講義	2		※	
	社会的養護Ⅰ	社会的養護Ⅰ	講義	2		※	
	保育者論	保育者論	講義	2		※	
		次世代教育学総論	講義	2		○	
保育の対象の理解に関する科目	保育の心理学	発達心理学A	講義	2		※	
	子ども家庭支援の心理学	子ども家庭支援の心理学	講義	2		※	
	子どもの理解と援助	子どもの理解と援助Ⅰ	演習	1		※	
	子どもの保健	子どもの保健	講義	2		※	
	子どもの食と栄養	子どもの食と栄養	演習	2		※	
			子どものこころ	講義		2	○
			教育心理学A	講義		2	○
		子どもの理解と援助Ⅱ	演習	1		○	
保育の内容・方法に関する科目	保育の計画と評価	教育課程論(幼児)	講義	2		※	
	保育内容総論	保育内容総論Ⅰ	演習	1		※	
	保育内容演習	子どもと人間関係	演習	2		※	
		子どもと環境	演習	2		※	
		子どもと言葉	演習	2		※	
	乳児保育Ⅰ	乳児保育Ⅰ	講義	2		※	
	乳児保育Ⅱ	乳児保育Ⅱ	演習	1		※	
	子どもの健康と安全	子どもと健康Ⅰ	演習	1		※	
	障害児保育	障害児保育	演習	2		※	
	社会的養護Ⅱ	社会的養護Ⅱ	演習	1		※	
	子育て支援	子ども子育て教育相談Ⅰ	演習	1		※	
			子どもと健康Ⅱ	演習	1		○
			乳児保育Ⅲ	演習	1		○
			保育内容総論Ⅱ	演習	1		○
			社会的養護Ⅲ	演習	1		○
			子ども子育て教育相談Ⅱ	演習	1		○
	保育内容の理解と方法		美術の理解Ⅰ	演習	1		※
			音楽の理解Ⅰ	演習	1		※
			運動・健康の理解	演習	2		※
		表現A(造形表現)	演習		2	○	
		表現B(音楽表現)	演習		2	○	
		表現C(身体表現)	演習		2	○	
		美術の理解Ⅱ	演習	1		○	
		音楽の理解Ⅱ	演習	1		○	
保育実習	保育実習Ⅰ	保育実習ⅠA(保育所)	実習	2		※	
		保育実習ⅠB(施設)	実習	2		※	
	保育実習指導Ⅰ	保育実習指導ⅠA(保育所)	演習	1		※	
		保育実習指導ⅠB(施設)	演習	1		※	
			保育実習Ⅱ(保育所)	実習		2	2単位必修
			保育実習Ⅲ(施設)	実習		2	2単位必修
			保育実習指導Ⅱ(保育所)	演習		1	1単位必修
		保育実習指導Ⅲ(施設)	演習		1	1単位必修	
総合演習	保育実践演習	保育・教職実践演習(幼稚園)	演習	2		※	

※印の授業科目については、全て修得すること。

○印の授業科目から6単位以上を修得すること。

「保育実習Ⅱ」、および「保育実習Ⅲ」のいずれか1科目を修得すること。

「保育実習指導Ⅱ」、および「保育実習指導Ⅲ」のいずれか1科目を修得すること。

上記授業科目の他に、体育科目(体育理論・体育実技)をそれぞれ1単位、外国語科目を2単位以上履修し、

あわせて、体育科目及び外国語科目以外の教養科目から6単位以上を履修すること。

合計 68単位以上を修得すること。

(第21条第6項関係)
別表第4 教育課程と指定規則との対比表(柔道整復師)

教育課程と指定規則との対比表(柔道整復師)

【2020年度生以降対象】

指定規則の教育内容						別表第一													
						基礎分野		専門基礎分野					専門分野				計		
区分	授業科目	配当年次	単位数		1単位当たりの時間数	履修方法及び卒業要件	科学的思考の基盤	人間と生活	人体の構造と機能	疾病と傷害	柔道整復術の適応	保健医療福祉と柔道整復の理念	社会保障制度	基礎柔道整復学	臨床柔道整復学	柔道整復実技		臨床実習	
			必修	選択			14	15	11	2	8	1	10	17	17	4	99		
教養科目	語学と基礎技能の理解	英語Ⅰ(基礎)	1後	2	15	必修 22単位 + 選択必修 2単位		○											
		英語Ⅱ(応用)	2前		2		15		○										
		英会話	1前	2			15		○										
		体育理論	1後	1			15		○										
		体育実技	1前	1			15		○										
		コンピュータリテラシーⅠ(基礎)	1前	2			15		○										
	コンピュータリテラシーⅡ(応用)	1後		2	15			○											
	統計学	1後	2		15			○											
	人間の理解	心理学	1前	2			15		○										
		倫理学(宗教を含む)	1後	2			15		○										
		表現活動による人間力養成Ⅰ	1通	2			15		○										
		表現活動による人間力養成Ⅱ	2通	2			15		○										
		表現活動による人間力養成Ⅲ	3通	2			15		○										
		表現活動による人間力養成Ⅳ	4通	2			15		○										
		コミュニケーションの心理学	3前	2			15		○										
		人権と教育	2前	2			15		○										
		人間と法	4前	2			15		○										
		ライフスキルⅠ	1前	2			15		○										
	ライフスキルⅡ	1後	2		15			○											
	ライフコーチング	2後	2		15			○											
	自然の理解	数学基礎	2前	2			15		○										
		数学	2後	2			15		○										
		自然科学基礎	3前	2			15		○										
		生化学	3前	2			15		○										
		食育論	3前	2			15		○	○									
	社会の理解	日本の伝統文化	1前	2			15		○										
		政治・経済学	1後	2			15		○										
		日本国憲法	1後	2			15		○										
		日本経済論	2後	2			15		○										
		現代企業論	2後	2			15		○										
		経営学	2前	2			15		○										
		近現代史	3後	2			15		○										
		地理・地政学	3後	2			15		○										
		時事教養	2前	2			15			○									
		労働法規	3前	2			15		○										
	労働安全衛生法	3後	2		15			○											
	キャリアプランニング	フレッシュマンセミナー	1通	2			15			○									
		キャリアディベロップメント	2通	2			15			○									
		キャリアデザインⅠ	3前	1			15						○	○					
		キャリアデザインⅡ	3後	1			15						○	○					
		キャリアサポート	4前	2			15			○									
		基礎ゼミナールⅠ	1通	2			15			○									
基礎ゼミナールⅡ		2通	2		15			○											
アカデミックスキルズ		1前・後	2		15		○												
ボランティア活動Ⅰ		1集中	2		15			○											
ボランティア活動Ⅱ		2集中	2		15			○											
計(履修方法・卒業要件)						24	22	0	0	0	1	1	0	0	0	0	24		

(第21条第6項関係)

別表第4 教育課程と指定規則との対比表(柔道整復師)

指定規則の教育内容						別表第一													
						基礎分野		専門基礎分野					専門分野				計		
						科学的思考の基盤	人間と生活	人体の構造と機能	疾病と傷害	柔道整復術の適応	保健医療福祉と 柔道整復の理念	社会保障制度	基礎柔道整復学	臨床柔道整復学	柔道整復実技	臨床実習			
区分	授業科目	配当年次	単位数		1単位当たりの時間数	履修方法及び卒業要件	14	15	11	2	8	1	10	17	17	4	99		
専門基礎科目	健康科学	解剖学Ⅰ	1前	2		15	必修 25単位			○									
		生理学Ⅰ	1前	2		15				○									
		病理学Ⅰ	2前	2		15					○								
		運動学特論A	1前	2		15					○								
		運動学特論B	1後	2		15					○								
		公衆衛生学Ⅰ	3前	2		15							○						
		解剖・生理学実習Ⅰ	3前	1		30					○								
		基礎柔道整復学Ⅰ(総論)	1前	2		15									○				
		基礎柔道整復学Ⅱ(骨折)	1後	2		15									○				
		基礎柔道整復学Ⅲ(脱臼)	2前	2		15									○				
		基礎柔道整復学Ⅳ(捻挫)	2後	2		15									○				
		基礎柔道整復学Ⅴ(保存療法)	3集	2		15									○				
		柔道整復解剖生理演習Ⅰ	2前	2		15					○								
		柔道整復解剖生理演習Ⅱ	2後		2	15					○								
計(履修方法・卒業要件)						25	0	11	2	0	2	0	10	0	0	0	25		
コア科目	柔道整復分野	解剖学Ⅱ	1後	2		15	必修 44単位			○									
		生理学Ⅱ	1後	2		15				○									
		公衆衛生学Ⅱ	3後	2		15							○						
		病理学Ⅱ	2後	2		15					○								
		外科学Ⅰ	2前	2		15					○								
		外科学Ⅱ	2後	2		15					○								
		内科学Ⅰ	2後	2		15					○								
		内科学Ⅱ	3前	2		15					○								
		整形外科Ⅰ	3前	2		15					○								
		整形外科Ⅱ	3後	2		15					○								
		リハビリテーション医学Ⅰ	3前	2		15					○								
		リハビリテーション医学Ⅱ	3後	2		15					○								
		柔道整復治療学	4前	2		15						○							
		関係法規	1後	1		15							○						
		臨床柔道整復学Ⅰ(骨折Ⅰ)	1後	2		15										○			
		臨床柔道整復学Ⅱ(骨折Ⅱ)	2前	2		15										○			
		臨床柔道整復学Ⅲ(脱臼)	2後	2		15										○			
		臨床柔道整復学Ⅳ(捻挫)	3前	2		15										○			
		臨床柔道整復学Ⅴ(軟部組織Ⅰ)	3前	2		15										○			
		臨床柔道整復学Ⅵ(軟部組織Ⅱ)	3後	2		15										○			
臨床柔道整復学Ⅶ(臨床応用)	3後	2		15									○						
臨床柔道整復学演習Ⅰ	4集	1		8									○						
臨床柔道整復学演習Ⅱ	4集	1		8									○						
臨床柔道整復学演習Ⅲ	4集	1		8									○						
計(履修方法・卒業要件)						44	0	4	18	2	3	0	0	17	0	0	44		
コア科目	体育実技・柔道整復実技	柔道Ⅰ(基礎)	2前	1		30	必修 19単位						○						
		柔道Ⅱ(応用)	2後	1		30							○						
		整復学実技Ⅰ(包帯法Ⅰ)	1前	2		30											○		
		整復学実技Ⅱ(包帯法Ⅱ)	1後	2		30											○		
		整復学実技Ⅲ(上肢・固定法Ⅰ)	2前	2		30											○		
		整復学実技Ⅳ(上肢・固定法Ⅱ)	2後	2		30											○		
		整復学実技Ⅴ(下肢・固定法Ⅰ)	3前	2		30											○		
		整復学実技Ⅵ(下肢・固定法Ⅱ)	3後	2		30											○		
		整復学実技Ⅶ(総合)	4前	2		30											○		
		健康運動実習	3前・後	1		30											○		
		アスレティックトレーナー実習Ⅰ	2前	1		30											○		
		アスレティックトレーナー実習Ⅱ	2後	1		30											○		
		計(履修方法・卒業要件)						19	0	0	0	0	2	0	0	0	17		19

(第21条第6項関係)

別表第4 教育課程と指定規則との対比表(柔道整復師)

指定規則の教育内容 教育課程							別表第一													
							基礎分野		専門基礎分野					専門分野			計			
							科学的思考の基盤	人間と生活	人体の構造と機能	疾病と傷害	柔道整復術の適応	保健医療福祉と 柔道整復の理念	社会保障制度	基礎柔道整復学	臨床柔道整復学	柔道整復実技		臨床実習		
区分	授業科目	配当年次	単位数		1単位当たりの時間数	履修方法及び卒業要件	14	15	11	2	8	1	10	17	17	4	99			
コア科目	ゼミナール	ゼミナールⅠ(基礎)	3通	4		15	必修 12単位	○												
		ゼミナールⅡ(応用)	4通	4		15		○												
	インターシッ プ	整復臨床実習Ⅰ	2通	1		30														○
		整復臨床実習Ⅱ	3通	1		30														○
		整復臨床実習Ⅲ	4集	1		30														○
		整復臨床実習Ⅳ	4集	1		30														○
計(履修方法・卒業要件)							12	8	0	0	0	0	0	0	0	0	4	12		
卒業要件単位数							124	30	15	20	2	8	1	10	17	17	4	124		
指定規則に対する増単位数								16	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	25	

※ 柔道整復師養成施設必修科目99単位、大学必修科目25単位以上を加えた卒業要件124単位以上を修得しなければならない。

(第41条関係)
別表第5 学納金

<通学課程>

内訳	体育学部 体育学科	体育学部 健康科学科	次世代教育学部	経済経営学部	備考
入 学 金	300,000円	300,000円	300,000円	300,000円	入学時のみ
授 業 料	800,000円	1,400,000円	800,000円	800,000円	年額
教育充実費	100,000円	100,000円	100,000円	100,000円	年額
施設設備費	200,000円	100,000円	100,000円	100,000円	年額
合 計	1,400,000円	1,900,000円	1,300,000円	1,300,000円	

- 1 全学部全学科とも入学検定料として30,000円を徴収する。
- 2 教材費、各種手数料は別途徴収する。
- 3 各種教育実習、資格取得に係る諸費用は別途徴収する。
- 4 海外における学外実習費については別途徴収する。

<通信課程>

種別	正科生	科目等履修生	備考
入 学 選 考 料	10,000円	10,000円	入学時のみ
入 学 金	30,000円	—	入学時のみ
編 入 料	20,000円	—	編入学生の 入学時のみ
履修登録料		30,000円	入学時のみ
授 業 料	120,000円	※5,000円	正科生は年額※1単 位あたりの授業料
休学在籍料	10,000円	10,000円	半期分
スクーリング受講料	5,000円～ 15,000円	5,000円～ 15,000円	1単位
教育充実費	10,000円	10,000円	年額
教育実習履修費			
2週間	20,000円	—	
3～4週間	40,000円	—	
介護等体験実習履修費	10,000円	—	

- 1 選考料は正科生、科目等履修生とも一律10,000円を徴収する。
- 2 入学金は正科生から入学時に徴収する。
- 3 編入料は編入学生から入学時に徴収する。
- 4 履修登録料は正科生以外の者から毎年徴収する。
- 5 正科生の授業料には、課題添削料、科目修得試験料を含むものとし、正科生については半額を半期ごとに徴収する。
但し、科目修得試験の再受験に際しては、1科目1回につき1,000円を徴収する。
- 6 スクーリング受講料は授業種別により、以下のように徴収する。
(1)講義・演習科目 1単位 5,000円
(2)実験・実技・実習科目 1単位10,000円
(3)看護系の演習科目 1単位15,000円
- 7 教育充実費については、正科生は半額を半期ごとに徴収し、科目等履修生は年額を入学時並びに継続更新時に徴収する。
- 8 教材費、実習委託費、各種手数料は別途徴収する。
- 9 海外における学外実習費については別途徴収する。